

令和7年度
青少年委員実践集録

対話からの気づきを
おくりあおう

令和8年3月

杉並区青少年委員協議会
杉並区教育委員会



目 次

あいさつ	青少年委員協議会 会長 岡田美津江 学校支援課 課長 中曽根 聡	P.2
青少年委員協議会報告		P.3
ブロック活動報告	第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック	P.4 P.5
専門部活動報告	地域交流部 児童館館長・子ども子育てプラザ館長との交流会 研修部 基礎研修、委員研修、実技研修、自主研修 広報部	P.5 P.6 P.7
青少年委員だより	第84号 第85号	P.8 P.9
行政や他団体との共同活動	第75回 ひまわりフェスタ 社会を明るくする運動 駅頭広報活動 第62回 ふれあい運動会 第16回 すぎなみ舞祭 杉並区中学校対抗駅伝大会2025 第24回 すぎなみ名物ファミリー駅伝	P.10 P.11 P.12
各中学校区での取組	地域教育連絡協議会事業開催一覧 地域教育推進協議会事業開催一覧	P.13 P.20
活動風景	地域教育連絡協議会(子ども地域活動促進事業) 地域教育連絡協議会(懇談事業) 地域教育推進協議会	P.22 P.23
委員の実践	絆を深める地域活動	P.24
青少年委員協議会	令和7年度年間活動状況	P.26
青少年委員協議会	規約・組織図	P.28
青少年委員協議会	ブロック別委員名簿	P.30



気づきをおくりあう

青少年委員協議会 会長 岡田 美津江

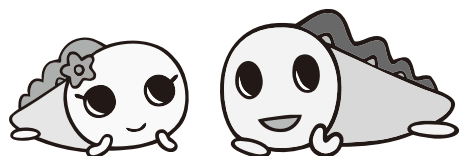
令和6年度、7年度は「対話からの気づきをおくりあおう」をテーマに活動を行ってまいりました。顔を合わせて話をする事の大切さを実感するとともに青少年委員一人一人の素晴らしさを感じる2年間でした。

令和6年度は対話を通して、青少年委員一人一人の思いを聞かせていただき、令和7年度では、そこから見えてくる課題を見つけ出し、青少年委員同士はもちろん、他の部署の方とも丁寧に話し合いを続けてまいりました。

青少年委員を続けていくために何を大切にしていきたいか？そもそも青少年委員は何をする人なのか？こんな根本的なことへの疑問があがりました。「青少年委員は、地域の子どものために、家庭・地域・学校をつなぐパイプ役であり、地域の教育向上のための要」となっています。地域での活動が充実することで青少年委員としてのモチベーションをあげることができるのだと思います。

基本に立ち戻って、地域を充実させたい。この2年間の話し合いは、私たちの活動を見直していく良い機会になりました。「対話から気づいたことをおくりあう」のテーマ通りに少しは進めた気がします。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。そして、次の皆さまにバトンを渡します。これからも青少年委員の活動にご理解とご協力を賜れば幸いです。



改めて、すぎなみを「子どもの理想郷」に

教育委員会事務局 学校支援課長 中曽根 聡

令和7年度は、子どもの人権や居場所づくりについて考える一年になりました。基本構想に掲げる、「すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち」の実現に向けて、杉並区における子どもの権利をより一層保障するため、「子どもの権利条約」や「こども基本法」を踏まえ、「杉並区子どもの権利に関する条例」が4月に施行されたからです。

タイトルに「改めて」と入れたのは、実は80年近く前の昭和22年、杉並区を《子どもの町》にしようという、「子どもの町建設委員会」の呼びかけがあったまちでもあるからなのです。当時の新居格区長を委員長にしたこの委員会は、《子どもの町》について、「子どものことを考える大人と自主的に行動する子どもとが共同して作る子どもの理想郷」としています。

そしてこの理想郷を実現するために、【児童の自治を尊重すること】、【すべての大人は子どもの育ちに楽しく創意工夫してかかわる権利をもっていること】、【児童の福祉向上は、特定の事業者に委ねるものでなく社会全体によって為されるものであること】、の三点を要点として掲げています。

青少年委員の皆様には、中学校区の地域単位で、多様な地域住民や教員・児童福祉関係者が集い、子どもの育ちを考える懇談会や、子どもが主体となっていく「子ども地域活動促進事業」を展開していただいています。また、条例制定のタイミングを生かし、今年度新設された「子どもの権利救済委員」を講師とした研修も開催しました。

この実践集録には、委員の皆様がそれぞれに描く「子どもの理想郷」を目指した試行錯誤の記録が詰まっています。令和6・7年度の青少年委員任期はこれで終了しますが、青少年委員を継続する方も、退任される方も、引き続き一人の大人として、「子どもの理想郷」づくりにお力添えをお願いします。



【青少年委員協議会報告】

令和6・7年度活動テーマ 「対話からの気づきをおくりあおう」

青少年委員は、各地区の青少年育成委員会からの推薦を受けて杉並区教育委員会より委嘱され、原則、各中学校区に2名ずつ配置されています。担当している中学校区において「地域教育連絡協議会(地教連)」の事務局として懇談事業と子ども地域活動促進事業(子促)に携わり、学校に足繁く赴くことで子どもたちや学校との繋がりを深めています。学校でのいきいきとした子どもたちの姿やこれから一緒に考えたい課題など、臨場感をもって地域の方々にお伝えすることのできるパイプ役でありたいと願っています。天沼中学校区、高円寺地区、杉並和泉学園校区、神明中学校区では「地域教育推進協議会(地教推)」として、さらに大きな枠組みの中で、地域性に富んだ活動をしています。

このように各中学校区で活躍することに並行して、青少年委員協議会を組織することにより情報共有だけでなく自己研鑽にも努めています。協議会は地域ごとに3つのブロックに分かれており、ブロック活動により、近い地域の青少年委員同士がつながりを深めています。

また、専門部として研修部、広報部、地域交流部があり、いずれかの専門部に属することで地域を超えた活動を行っています。

研修部は行政主催の基礎研修、委員研修、実技研修に関わります。協議会主催の自主研修として今年度は、JICA地球ひろばの見学とワークショップを行いました。

広報部は年2回の「青少年委員だより」の発行を通じて、

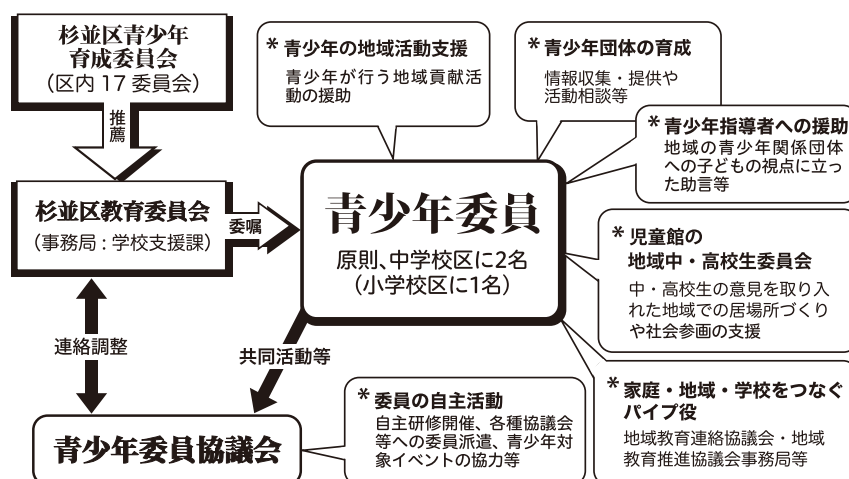
青少年委員協議会の活動周知を図るとともに、一年間の青少年委員活動をまとめた「青少年委員実践集録」を作成しています。

地域交流部は、主に青少年を育成する団体との交流を企画・運営し、今年度は令和9年度に放課後等居場所事業が区内全小学校に配置され、共存していく中での課題点などを共有したいということから児童館の館長、子ども・子育てプラザ所長の方々と交流会を開催しました。

また、区内行事の派遣活動として、ひまわりフェスタ、すぎなみ舞祭、ふれあい運動会、中学校対抗駅伝大会、ファミリー駅伝に参加協力しました。他に区内青少年活動に関わる委員会等にも多数出席しています。

一期2年の折り返しとなった令和7年度の青少年委員協議会は、新たに3人の委員が加わり「対話からの気づきをおくりあおう」というテーマのもと41人の委員で活動してきました。今年度は初めての試みとして、各期ごとに杉並区教育委員会事務局学校支援課家庭・地域教育担当の職員の方々との懇談会を行いました。協議会に関わることや行政に関わることなど様々な意見が出され、まさに今期のテーマである「対話からの気づき」があったと思います。それらの意見をもとにこれからの青少年委員協議会の在り方について話し合いを重ね、続けやすい活動になるように見直しを行いました。次年度も良い形で続いて欲しいと思います。(白瀬 理恵)

●●● 杉並区青少年委員の活動 ●●●





【ブロック活動報告】

第1ブロック

今年度、1ブロックは新たなメンバーが2名増え、年間で集合する機会はまだ多くない中、互いの活動を理解し合い、しっかりと交流ができていると感じています。

そして、12月18日(木)に1ブロック研修を実施しました。研修の目的は今後、青少年委員としての活動に活用できるように1ブロックの活動地域内にある地域の文化歴史資産である施設などを訪ね地域理解を深めるために荻窪三庭園の荻外荘公園、大田黒公園を歴史散策しました。大田黒公園の正門は総檜の切妻造りで屋根は波を打つような形の棧瓦ぶき、塀は泥土をつき固めて作った築地塀でした。正門から庭園へ向かう園路には御影石が敷かれ、両側には樹齢100年以上のイチョウ並木がありました。そして、庭園には池があり茶室や休憩所の裏から流れが注ぐ筑波石と植え込みが飾られていて池の中にはたくさんの錦鯉がいました。庭園の中には茶室と旧大田黒住宅洋館があり、洋館は国の登録有形文化財として見学ができました。大田黒公園の見学後、荻外荘公園に1ブロックメンバー同士交流しながら徒歩で向かい、荻外荘公園はガイドの方から、荻外荘の歴史を詳しく説明していただきました。客間、食堂、書斎、応接室、蔵、別棟などそれぞれの場所に歴史があり、近衛文麿、伊東忠太、入澤達吉の荻外荘との関わりや日本の歴史を学びました。荻外荘の見学は、参加した1ブロックメンバー全員からの、「とても興味深い。また、見学し更にもっと学びたい」と感想がありました。(大盛 悦子)



第2ブロック

2ブロックは、今年度新しく1名の委員を迎え、15名になりました。定例会、研修会などで顔を合わせるとそれぞれの活動の悩みや喜びを分かち合い、対話の大切さを感じます。同じ悩みに同感し、励まし合い切磋琢磨し成長を遂げるのだと思います。

今年のブロック研修は、11/12に荻窪三庭園の一つ『荻外荘』に行きました。荻窪駅から初めてモビリティバスに乗り、子どもに戻ったようにワクワクドキドキの体験でした。荻外荘では、秋を感じつつ杉並の歴史を学ぶ良い機会でした。こんな近くに学びの場があるということに、改めて杉並区の素晴らしさに気付かされました。荻外荘見学後、徒歩圏内の荻窪で美味しいお料理をいただきながら、親睦を深めました。忙しい中、親睦会から1名加わり、9名で大いに盛り上がりました。

現在2ブロックには、3期の委員はいませんが、それぞれの期の良さがあり、どの委員も協力的かつ行動力があるので、テーマを出せばどんな形でやりたいのか？誰が中心になるかなど話の進みがとても早く、まとまるのも早いです。せっかく青少年委員をやるのなら、みんなで楽しみたい！楽しみながら活動をしないと損をしたいと思います。こんな気持ちにさせてくれるのが2ブロックの青少年委員の皆さんでした。2年間ブロック長として個人的には楽しく活動することができました。力不足でご迷惑をおかけしたかと思いますが、皆様ありがとうございました。(奥山 美奈子)





第3ブロック

3ブロックは、今年度も13名のメンバーで2年目の活動をスタートしました。委員全員が仕事を持つ身であるため、「無理をせず、負担をかけすぎない」をモットーに、互いに助け合いながら活動をしています。

以前よりブロック会の回数を減らし、LINEによる情報共有や連絡体制を主にしたことで、時間的拘束の軽減という成果を得られました。一方で、対面機会の減少により「気軽な相談」がしにくくなるという課題も浮き彫りとなりました。何気ない世間話の中にこそ、多くの学びや気づきがあることを再認識する機会にもなりました。

そうした課題の中にあっても、メンバーの協力体制は強固です。研修の候補地選び等では積極的なアイデアがありました。本年度の研修では、昨今「知的スポーツ」として脚光を浴びている麻雀を体験しました。Mリーグの人気や部活動化など、現代の文化を知る一環としてプロの指導を仰ぎ、戦略性や集中力を学びつつ親睦を深めました。また、地教連や子促活動の相互理解を深める取り組みも継続しております。

令和7年は、大阪・関西万博の開催や高市首相の誕生、米高騰が話題となる一方、杉並区においては「子どもの居場所づくり基本方針」が策定され、児童館の全館存置や、4月の「子どもの権利に関する条例」施行など、子どもを取り巻く環境を地域で支える仕組みが大きく動いた一年でした。こうした情勢を注視しながらも、今後も「対話」を活動の軸に据え、地域の子どもたちのために無理なく、楽しみながら活動を続けていきたいです。

(椎野 玲子)



【専門部活動報告】

地域交流部

今年度は児童館長、子ども・子育てプラザ所長との交流会を実施しました。9年前に児童館長との交流会を実施していますが、当時はなかったプラザ所長もお迎えし、また喫緊の課題となっている「子どもの居場所づくり」の観点から懇談でき、よい交流になりました。派遣活動では「ふれあい運動会」の運営協力として10月に実施し、ファミリー駅伝の運営協力を2月に行いました。ふれあい運動会では中学生ボランティアの意義やサポートについて検討が必要であり、実施にあたり青少年委員の協力は必要と感じ、有意義な派遣活動でした。

(澁谷 薫)

児童館長・子ども子育てプラザ所長との交流会

開催日：令和7年10月16日(木)

場 所：セシオン杉並 第8・9・10集会室

今年度の他団体交流については、いくつかの候補の中から今後、放課後等居場所事業が小学校全校配置になるにあたり、児童館やプラザとの共存や地域によつての状況の違い等、気になる部分があるという点から児童館長、プラザ所長のご意見もお聞きしてみたいということで交流先をお願いをしました。

当日は青少年委員の活動紹介、杉並区の放課後等居場所事業についての展望を説明いただき、グループトークへと進みました。各グループとても盛り上がり、まだまだ話したい所でしたがお時間となり、それぞれの内容を共有しました。児童館を取り巻く環境はそれぞれの地域性等もあり様々でしたが、学校とは違う子どもたちの居場所がある事はとても大切であり、学校とは違う所で子どもたちの成長を見守ってくださる大人がいる事に改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。青少年委員としてこれからもお互い情報共有しな





がら、今後は子どもの特性であったり、成長過程にあったよりよい居場所づくりが進んで行くことを願っております。
(鳥切 智予美)

研修部

研修部では、教育委員会主催の研修への提案・協力に加え、協議会主催の自主研修を企画しています。青少年委員として身につけたい知識や教養とは何か、求められる研修の在り方を考えながら取り組んでまいりました。

特に自主研修では、より多くの委員が参加しやすい形を目指し、内容はもちろん、日程や費用面について検討を重ね、現地集合・解散の方式を採用しています。

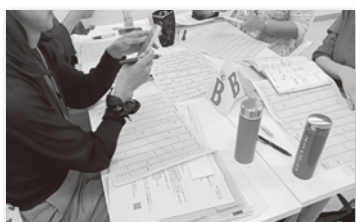
研修を通じて知見を広げ、委員同士が互いを知り、アイデアや悩みを共有できる関係づくりの一助となることを願っています。
(杉本 昌代)

<基礎研修>

日 時：令和7年5月15日(木)
場 所：小川ビル 4階会議室
テーマ：青少年委員の基本とは？

学校支援課主催で行われた今回の基礎研修は、自身の活動を可視化し、青少年委員として「本当に大切なこと」を見つめ直す貴重な機会となりました。

初めのアイスブレイクで緊張がほぐれた後、令和6年度の自分のスケジュールを内容ごとに色分けして、現状を客観的に把握しました。グループ共有では、活動が青少年委員の枠に留まらず、学校支援本部やCS、育成委員会の活動など多岐にわたる実態や、事務作業に多くの時間を費やしている現状が浮き彫りになりました。特に「行事の前には無理をして時間を割いてしまう」といった共通の悩みも共有され、持続可能な活動のために効率化を図る重要性について考えさせられました。



また、普段接点の少ないメンバーからも多様な取り組みや考えを聞くことができ、自身の活動に活かせるヒントを多く得られたことは大きな励みとなりました。

今後は、自分自身の価値観や生活も大切にしながら、地域子どもたちのために一層充実した活動を展開していきたいです。
(椎野 玲子)

<委員研修>

日 時：令和7年7月17日(木)
場 所：小川ビル 4階会議室
講 師：杉並区子どもの権利救済委員 谷川 由起子氏
テーマ：子どもの権利と地域活動：
青少年委員ができること～杉並区子どもの権利に関する条例の施行をきっかけに～

1990年に国連で発効した「子どもの権利条約」。日本は1994年に批准しましたが、196の国と地域の中で158番目という遅いスタートだったことを知り、谷川氏のお話のとおり、先進国として考えさせられるものがありました。



今年4月に施行された『杉並区子どもの権利に関する条例』は、「子どもが権利の主体として尊重され、安心して暮らすことができる地域社会を実現する」ことを目指しています。小・中学生と日々関わる私たち青少年委員にとって、特に大切にしたいのは「意見を聴かれる権利」だと感じています。子どもたちが失敗しないように、傷つかないようにと、つい先回りしてしまうことがあります。でも、本当に必要なのは、子どもたちが自分らしく考え、声を出し、自分の足で歩いていけるようにそっと支えることなのだと思います。また、いじめや学校での人間関係など、悩みを抱える子どもに出会ったときには、専門家につなぐ橋渡しをすることも、私たちにできる大切な役割だと感じました。

(佐藤 幸子)



<実技研修>

日 時：令和7年9月18日(木)

場 所：杉並区役所 第4会議室

講 師：NPO法人日本冒険遊び場づくり協会代表

関戸 博樹氏

テーマ：子どものやる気を引き出す声掛け

こども家庭庁こどもの居場所部会臨時委員でNPO法人日本冒険遊び場づくり協会代表の関戸



博樹氏をお招きし、「子どものやる気を引き出す声掛け」をテーマに講演していただきました。4人グループに分かれて、アイスブレイクから自己紹介ワークと実践形式で始まり、プレイワーク、邪魔する寄り添うワークについて学びました。寄り添う事、見守る事、日頃の何気ない会話を繰り返す事で「信頼関係を築くこと」が大切なのだという事を教わりました。

今回の研修は青少年委員として子どもたちへの向き合い方、また地域の大人同士のコミュニケーションを見つめ直す良い機会となりました。今後の活動に活かしていきたいと思う反面、子促準備や懇談会開催準備など、限られた短い期間内での実践には難しい部分もあり、どのように活用していくかは今後の課題になっていくと感じました。気づきと課題、両方が見えた良い研修となりました。(芦 秋子)

<自主研修>

日 時：令和8年1月15日(木)

場 所：JICA地球ひろば

今年度の自主研修は、市ヶ谷にあるJICA地球ひろばにて展示見学とワークショップを行い、世界の課題や多様な文化について幅広く学ぶ貴重な機会となりました。展示見学では、地球ナビをはじめ、人間の安全保障、貧困、保健医療、水、教育、紛争、相互依存、SDGsの達成度など、地球規模の課題を具体的に知ることができました。また、世界の楽器や民族衣装の試

着体験を通して、各国の文化や暮らしを身近に感じることができました。JICA海外協力隊の体験談では、PC



インストラクターとして派遣された方のお話から、想像以上にインフラが整備されている国もあることを知り、先入観を見直すきっかけとなりました。ワークショップでは、サイコロゲーム感覚で複数の国の現状を学び、楽しみながら理解を深めることができました。昼食では多国籍料理を味わい、香りや味の違いも含めて異文化を体験できました。(内田 はずみ)

広報部

青少年委員の活動を多くの方々にご理解いただくため、年に2回「青少年委員だより」を発行、さらに1年間のしめくりとして「実践集録」を発行しています。青少年委員の活動を分かりやすく紹介するとともに、特集やテーマを設け、現状や課題点を共有できるような紙面作りを心がけています。7月に発行しました「青少年委員だより84号」では、それぞれの地域を担当する青少年委員を知っていただけるよう、ブロック毎に分かれた地図と、顔写真とともに名前と担当校を紹介しました。また、学校・家庭・地域のパイプ役として青少年委員がどのような活動を行っているのか、皆様にご理解いただけるように1年間の活動をご紹介します。2月に発行しました「青少年委員だより85号」では、それぞれが担当する学校区での活動をご紹介します。各学校区での特色ある活動を、子どもたちや学校・地域の皆様と一緒に作り上げている様子をご覧いただければと思います。

学校や地域での活動の形がどんどん変化していく中で、青少年委員として何ができるのか、私たちが考える子どもたち中心の地域教育とは何かを、広報紙を通じてお伝えできればと思っています。発行にあたり、ご協力いただきました皆様方に感謝を申し上げます。(小森 梨沙)



青少年委員 だより

第85号

令和8年2月19日
発行 杉並区教育委員会事務局
発行所 杉並区青少年委員協議会
編集 杉並区青少年委員協議会
広部 啓



対話からの気づきをおくりあおう

「対話から気づきをおくりあおう」活動テーマ

今年度の対話活動は、「対話から気づきをおくりあおう」をテーマとして行われてきました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。



対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。

対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。

対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。

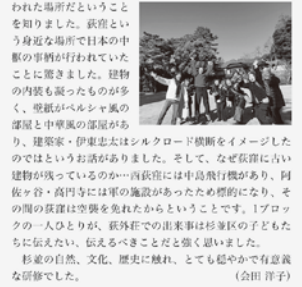
対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。

対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。

対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。対話活動を通じて、地域や学校、仲間とのつながりを深め、自分自身の考えや意見を表現する機会をもちました。

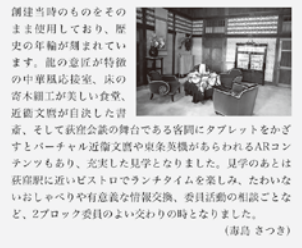
第1ブロック研修 令和7年12月18日(木)

後秋の大田原公園。銀杏の落ち葉で黄色に染まった長い道が門からまっすぐに見えました。レンガ色の洋館には、手入れをされたグラウンドピアノが台座にありました。さまざまな自然が咲いて、「樹木や花の名前を知りたいから、より詳しく知りたい」と話しながら散策しました。その中でおもしろいものを見つけた。...



第2ブロック研修 令和7年11月12日(水)

2ブロックのブロック研修で秋外荘の見学に行きました。秋外荘からグリーンロードまで目的地に向かっていた道は、時速20キロ未満で走る小さな電動車の楽しい乗り心地も楽しめたことでもありました。復元整備を経て2024年12月に公開された秋外荘は、移築を重ねているものの、建具や床タイルなど使える部材は昭和22年の...



第3ブロック研修 令和7年12月10日(水)

知的スポーツとして注目される将棋の体験研修を実施しました。研修は将棋のルールや駒の動き、戦術や集中力が求められます。プロリーグ(Mリーグ)の人気や、小中高での課外活動が広がるなど、現代においておおくべきスポーツとして、プロの方にご指導いただきました。研修では、まず簡単なルール説明の後、将棋を以て全員で確認しながら進める練習を行いました。3回の練習を経て、いざ実践。どの駒を動かすべきか迷った際には、先...



編集後記 広報紙発行にあたりご協力いただきました皆様、ありがとうございます。

* こんな活動をしています！ *

青少年委員は、各地区の青少年育成委員会からの推薦をうけ、教育委員会から委嘱された非常勤公務員です。青少年教育の振興のため、家庭・地域・学校をつなぐパイプ役となり、地域の教育力向上の要として活動しています。原則として各中学校区に2名が委嘱され、概ね中学校区ごとに組織されている「地域教育連絡協議会(地教連)」または「地域教育推進協議会(地教推)」の運営に携わっています。

- 地域教育連絡協議会(地教連)
 - 各中学校区ごとに組織され、小学校・中学校の先生、PTA、その地域の方々で構成されています。
 - 懇談事業
 - *年間テーマを決め、年に数回、懇談会や講演会を開催し、地域の情報交換の場になっています。
 - 子ども地域活動促進事業
 - *各中学校区ごとに、お祭りやコンサート、ゲーム等さまざまな催しが実施されています。
 - *子ども実行委員会を中心に企画し、各小学校・中学校の子どもたち、PTA、地域の皆さんの協力と参加があります。
 - 地域教育推進協議会(地教推)
 - 地教連の発展的な取組です。0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、子どもたちが健やかに育つ地域の実現に向けて活動しています。
 - 懇談会や子どもたちとの対話を活かした地域の課題や可能性へのチャレンジ事業を行っています。

●懇談事業

【井荻中学校区】 井荻第一小学校の授業参観後、井荻中・第一小・四宮小の各校長より学校の様子などを伺いました。その後グループで懇談し、懇談内容の発表と情報交換を行いました。	【向陽中学校区】 スマイルキキテ氏による、永福小学校セーフティ教室にて「知らぬ間に巻き込まれていくSNSトラブル」のお話を伺い、その後講師を交えて保護者、地域の皆様と懇談を行いました。	【和田中学校区】 毎年「和田中学校区の地域を考える」というテーマで懇談会を開催。今年度は(株)ステップ総合研究所の清水奈穂氏による地域防災についての講演とグループワークを行いました。
--	---	--

●地教推

【天沼中学校区】 天沼小学校防犯教室 NPO法人体験型安全教育支援機構の清水奈穂氏にご協力いただき、1年生親子防犯教室では自分を守るための体験学習、高学年防犯教室では自分や周りの人を守るための知識や対処方法をチームに分かれてテーマごとに話し合いを行いました。	【杉並和泉学園校区】 いずみ図書フェス 工作あそび・絵本クイズ・短し絵本紹介、絵本を使わず語りかけのみで伝える「葉語り」など、小中学生に人気「リトルバリエーナ」の著者であり和泉地域ともゆかりの深い工藤純子先生の特別展示コーナーでは、これまでの先生の著書と共に行作家のお仕事紹介も実施しました。
--	---

【高円寺地区】 高円寺ゆめ音楽祭 杉三小音楽教室、杉小音楽教室、高円寺学園クラブ、天鼓隊、小学部音楽教室、中学部音楽部、高南中音楽部が参加する、高円寺地域の音楽祭。参加校が互いの演奏を聴き合い、音楽の素晴らしさを感じて楽しめました。最後の全員合唱「翼をください」では会場がひとつになり、とても感動的でした。	【神明中学校区】 神明祭 毎年開催のイベント。中学生や地域協力のチョコバナナ・観あめ・スーパーボールすくいなどのお店や、理科実験や茶道、救命講習などの体験コーナー、体育館ステージでの音楽部の演奏など、来場者もとても多く大に開催されました。
--	--

● 今期(令和6・7年度)の活動より ●

●子ども地域活動促進事業 お祭り・イベント

【杉並中学校区】 杉並祭 小学生に杉並小学校を知ってもらえるよう企画。ゲームや飲食店だけでなく、杉並レスキュー隊の旗揚げ地開成コンサートや、こみぜろプロジェクトチームによる発表やごみステーションの運営、音楽部、合唱など盛りだくさんでした。	【宮前中学校区】 宮前スマイル 第1部の舞台発表では、宮前中学校のダンス部・吹奏楽部・E組による演劇・秋葉小学校のキッズソラン・音楽部クラブの発表。第2部では中庭でヨーヨー釣りやストラックアウト、起震車体験などを実施し、多くの来場者が楽しめました。	【高南中学校区】 高南祭 小・中学生実行委員会企画・準備・運営を行いました。輪投げや射的、寄せ書きコーナー、吹奏楽部の演奏やステージショー、新刊の展示や別荘リサイクルなど、PTAや地域の方々を支えていただき、楽しい高南祭になりました。
--	---	--

●子ども地域活動促進事業 舞台発表・コンサート

【秋葉中学校区】 秋中フェスタ 軽音楽部が多目的にライブを行いました。部屋に取り付けたミラーボールでライブ感が増し、歌が始まると中学生の掛け声で、参加した小学生もノリノリで歌っていました。	【高井戸中学校区】 高中ミニコンサート 生徒実行委員会が運営し、高井戸中の吹奏楽部・和太鼓部、有志ダンス、近隣の高井戸小・浜田山小・高井戸東小有志の演奏・合唱、ダンスの発表が行われました。準備や片付けには小中PTAの皆様や高井戸運動部の協力を得て、交流を深めることもできました。	【中瀬中学校区】 中瀬フェスタ 毎年、実行委員会生徒が地域の子どもたちが楽しめる催しを考えています。焼きそばや焼きお餅、体育館での合唱やパフォーマンスなど、地域や小学校区PTAの皆様を力をお借りしながら開催しました。	【大宮中学校区】 までしこフェスティバル ダンス主体の発表会。大宮小2年生のほか、大宮小・済美小の放課後等居場所事業からの出演もあり、観客も参加できる演出の工夫で会場が一体となりました。
---	--	---	--

●子ども地域活動促進事業 学校活動紹介など

【井荻中学校区】 エンジョイ！ 中学校部活動体験会 生徒実行委員会と共にも度々の実行委員会を行い、小学生たちが楽しみながら井荻中学校の様子や部活動について知ってもらったことにはどうしたらいいか検討を兼ねて開催しました。当日は大盛況のうちに閉会しました。	【富士見中学校区】 浴風会での花だん作り 高齢者や地域の子どもとの交流を目的とした27年目の花だん作り。花植え当日は、中学生が小学生に花の植え方を説明しながら植えましたが、花植え後の草取りも行っています。	【阿佐ヶ谷中学校区】 ようこそ先輩 25名の中学生ボランティアが、杉六小・杉七小6年生の土曜授業に出向き、中学校の1日の流れや部活動のこと、制服などについてタブレットで準備した映像を交えて、中学校生活についてリアルに伝えました。
---	---	---



【行政や他団体との共同活動】

第75回 ひまわりフェスタ

開催日：令和7年7月27日(日)

場 所：セシオン杉並 ホール・中庭・展示室

“社会を明るくする運動” 推進イベント「ひまわりフェスタ」が開催され、猛暑の中、大勢の方が来場されました。青少年委員は缶バッジづくり体験のコーナーを担当しました。バッジのデザインは、用意されたものの他にオリジナルのイラストを書くこともでき、子どもから大人まで皆楽しんで作っていただきました。出来上がった時の皆さんの嬉しそうな顔がとても印象的でした。展示室ではその他にパネル展示やキッズコーナー、パン販売、刑務所作業製品販売などあり、大変賑わっていました。ホールでは元保護司で講師の一龍齊貞花氏による講演「ぬくもりある地域と家庭」と講談「更生保護の父 金原明善物語」、また杉並児童合唱団によるミニコンサートも開催されました。中庭ではパトカー、白バイの乗車体験、東吾妻町の物産展、苗木のプレゼント、キッチンカーで美味しいランチボックス販売もありました。催しを楽しみながら、犯罪・非行の防止や、罪を犯した人たちの更生についての理解を深めるいい機会になったのではないかと思います。

(三浦 聡子)



社会を明るくする運動 駅頭広報活動

開催日：令和7年10月6日(月)、10月7日(火)、

10月10日(金)

場 所：JR荻窪駅、JR高円寺駅、

京王井の頭線永福町駅

社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの立ち直りを地域で支え、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。杉並区ではこの運動を推進するために、毎年駅頭広報活動を行っていましたが、平成30年以来、昨年が久しぶりの開催となりました。青少年委員は昨年に続き、地域の関係者や中学生の有志と一緒に、区内の駅頭でチラシとウエットティッシュ配りを行いました。

最初はなかなか受け取ってもらえず落胆する様子も見られましたが、受け取ってもらえるように工夫をしながら、一生懸命に声をかけている中学生の姿が印象的でした。

ひたむきに取り組む姿勢からは、より多くの人に活動のことを知ってもらいたい!!という真っ直ぐな気持ちが伝わってきました。

この活動を通して、ひとりでも多くの方に思いが届き、また中学生に、これからもこのような活動に参加したいと思ってもらえるよう、青少年育成活動に励んで参りたいと思います。

(瀧口 志保)





第62回 ふれあい運動会

開催日：令和7年10月11日(土)

場 所：杉並第十小学校 校庭(蚕糸の森公園運動場)

昨年の晴れ渡った青空の下とは変わって、今年は雨の降る中、第62回「ふれあい運動会」が10月11日(土)杉十小学校のグラウンドで開催されました。寒く、雨の中の開催は心配もありましたが、元気に競技に参加されている方を見てこちらも元気をもらいました。

はじめの体操は、参加者を考慮してテントの下で行われました。中学生ボランティアが元気に校庭の真ん中に出て体操をする姿には、微笑まじさと中学生の底力を見た感じがしました。雨が止む気配のないまま、「玉入れ」、「パックパン」と競技は進んでいきますが、参加者の熱気と応援の熱気で雨が降るのも何のその！最後の競技、運動会の花「対抗リレー」は、手に汗握る大接戦が繰り広げられました。応援にも熱を帯びた中、第62回「ふれあい運動会」は終了となりました。寒さと雨との戦いの1日でもありましたが、参加者の皆さん、中学生ボランティアの皆さんから元気をもらえた1日でもありました。ありがとうございました。

(小林 朱実)



第16回 すぎなみ舞祭

開催日：令和7年10月19日(日)

場 所：下高井戸おおぞら公園

おだやかな秋の下高井戸おおぞら公園で「すぎなみ舞祭」が開催されました。

受付を始めると、舞祭にエントリーをしたチームが次々にやってきました。開会式の前にステージで練習をするチームが多く、ダンスへの意気込みが感じられました。受付が一段落すると、イベントの案内や落し物の管理をしながら、ダンスチームへの賞状の作成や、スタッフのお弁当配布の準備をします。

公園のイベントエリアではフラフープ体験コーナーや舞祭なみすけスタンプラリーやシャボン玉体験なども行われたり、キッチンカーの出店もあり、地域のみなさんが楽しんでいました。小雨の降る場面もありましたが、今年は24チーム約480名近いダンサーたちが元気に舞い踊り、観客も一体になって盛り上がりました。

この祭を通して、参加した子ども同士が友情を深め、子どもたちの活躍を応援する大人たちが交流することで、子どもたちがより健やかに成長できる地域社会を目指しています。

(会田 洋子)





杉並区中学校対抗駅伝大会2025

開催日：令和7年12月14日(日)

場 所：都立和田堀公園陸上競技場(済美山運動場)

12月14日、開催が危ぶまれる空模様のもと、済美山運動場にて「中学校対抗駅伝大会」が開催されました。参加は、私立3校を含む杉並区内の中学校25校と、青梅市と南相馬市からの招待出場2チームです。

青少年委員は例年、会場班としてトラックへの出入りの管理や会場片付けを担います。集合時間にはすでに小雨がぱらついており、各校待機場所での開会式となりました。降ったり止んだりで結局、午前中いっぱい雨雲が途切れることはなく、防寒着や雨合羽を着込んでいても染み入るような寒さ。しかし選手たちはTシャツ短パン、あるいはランニングで、その体から湯気が立つような力走を見せてくれました。善福寺川沿いのコースを回ってグラウンドに選手が戻ってくると、会場から声援がわき起こります。

悪天候にもかかわらず、トラック外周通路の交通整理が必要なほど応援が集まる学校もあり、寒い中でも熱い気持ちを感じることができました。(毒島 さつき)



第24回すぎなみ名物ファミリー駅伝

開催日：令和8年2月22日(日)

場 所：蚕糸の森公園運動場

地域交流部を中心に青少年委員として11名お手伝いしました。受付、ゴール、大回りコース見守りなど、例年ファミリー駅伝実行委員の指示を仰ぎ手際よく準備します。

私は今回初めてスタッフとして参加し、主にトラックのライン引きやコース誘導を担当しました。

日中は想像以上に気温が上がり、立ちっぱなしでの対応は体力的にもなかなか大変でしたが、安全で走りやすい環境を整えることの重要性を実感しました。初めての運営側という立場で、準備や段取りに戸惑う場面も多く、自分の視野の狭さを痛感することもありました。

それでも、家族で声を掛け合いながら一生懸命に走る姿や、ゴール後に笑顔で抱き合う様子を間近で見ることができ、この行事に関わられたことを心から良かったと感じました。支える側の責任とやりがいを学ぶ、貴重な一日となりました。(奈良崎 智宏)



各中学校区での取組

杉並区青少年委員は、原則として各中学校区に2名が杉並区教育委員会から委嘱され、概ね中学校区ごとに組織されている「地域教育連絡協議会(地教連)」または「地域教育推進協議会(地教推)」の運営に携わっています。

●地域教育連絡協議会(地教連)

*各中学校区ごとに組織され、小学校・中学校の先生、PTA、その地域の方々で構成されています。

◇懇談事業

*年間テーマを決め、年に数回、懇談会や講演会を開催し地域の情報交換の場になっています。

◇子ども地域活動促進事業(子促)

*各中学校区ごとに、お祭りやコンサート、ゲーム等さまざまな催しが実施されています。

*子ども実行委員会が中心となって企画し、各小学校・中学校の子どもたち、PTA、地域の皆さんの協力と参加があります。

●地域教育推進協議会(地教推)

*地教連の発展的な取組です。0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、子どもたちが健やかに育つ地域の実現に向けて活動しています。

① 中学校区名 地教連・地教推(担当青少年委員)

令和7年度 懇談事業開催一覧	令和7年度 子ども地域活動促進事業開催一覧
<ul style="list-style-type: none"> ② 会長名 ③ 年間テーマ ④ 開催日時 ⑤ 会場 ⑥ 参加人数 ⑦ 内容 	<ul style="list-style-type: none"> ② 実行委員長名 ③ 事業名 ④ 開催日時 ⑤ 会場 ⑥ 参加人数 ⑦ 内容(ねらい、特色など)

※地教推の事業は、懇談、子促の区別はありません。

① 高南中学校区地教連(松本 絵美・山崎 友香)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<ul style="list-style-type: none"> ② 大橋 哲(高南中学校学校運営協議会委員) ③ ともにつながる 学校・家庭・地域 ④ R7.6.24(火) 16:00~17:30 ⑤ 高南中学校 視聴覚室 ⑥ 38名 ⑦ 趣旨・年間テーマ・子促内容・メンバー紹介、ディスゲッター・ラダーゲッター体験 	<ul style="list-style-type: none"> ② 大橋 哲(高南中学校学校運営協議会委員) ③ 高南祭 ④ R7.9.13(土) 14:00~16:00 ⑤ 高南中学校 ⑥ 390名 ⑦ 実行委員は小学校4年生以上・中学校とも応募にて。中学生21名・小学生10名、計31名。実行委員が企画・準備当日の運営を行いました。内容は、吹奏楽部演奏、ステージショー、制服リサイクル、お化け屋敷、フォトスペース、ディスゲッター、スーパーボールすくい、休憩所、輪投げ、射的、箱の中身当て。各校PTAや地域の方々がたくさん支えて頂き、実行委員の子どもたちはやり遂げられたことに達成感を感じているようでした。
<ul style="list-style-type: none"> ④ R7.12.12(金) 16:00~17:30 ⑤ 高南中学校 視聴覚室 ⑥ 43名 ⑦ 高南祭活動報告・感想・反省点など情報交換 	

① 杉森中学校区地教連 (内田 ほずみ)	
懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 青山 亨 (杉並区保護観察会 元会長)</p> <p>③ 地域と共に子どもたちの「生きる力」を育む ～つなごう、地域の和～</p> <p>④ R8.3.2(月) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 杉森中学校 会議室</p> <p>⑥ 21名</p> <p>⑦ 6年ぶりの本事業再開であることや、コロナ以降の活動内容の変化などもあり、様々なことをお話いただき情報交換できました。子促事業の杉森祭について画像や資料を使い、今年度の活動と今後の計画を説明しました。また、皆さまからのご意見もいただくことができました。</p>	<p>② 青山 亨 (杉並区保護観察会 元会長)</p> <p>③ 杉森祭</p> <p>④ R7.11.29(土) 10:00～14:30</p> <p>⑤ 杉森中学校 体育室</p> <p>⑥ 400名</p> <p>⑦ 杉森中学校の生徒が同じ中学校区の小学生に楽しみながら中学校を知ってもらえるようにお祭りを企画しました。ゲームや飲食店だけでなく、杉森中レスキュー隊の逃げ地図作成コーナーや、ごみゼロプロジェクトチームによる発表やごみステーションの運営、吹奏楽、独唱など盛りだくさんで大盛況に終わりました。</p>

① 阿佐ヶ谷中学校区 (椎野 玲子・諸橋 記子)	
懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 齋藤 健一 (阿佐ヶ谷中学校校長)</p> <p>③ 子どもを取り巻く環境と「学校・家庭・地域」の連携について</p> <p>④ R7.6.11(水) 9:00～10:30</p> <p>⑤ 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 30名</p> <p>⑦ 「チーム(組織)を続けるって大変!？」というテーマで、グループディスカッションをしました。担い手不足、次世代への継続が難しいという共通課題にどのように対応しているかささまざまな意見が出ました。</p>	<p>② 齋藤 健一 (阿佐ヶ谷中学校校長)</p> <p>③ ようこそ先輩</p> <p>④ R8.1.24(土) 10:45～11:30(3校時目)</p> <p>R8.2.28(土) 8:45～9:30(1校時目)</p> <p>⑤ 杉並第七小学校・杉並第六小学校</p> <p>⑥ 153名</p> <p>⑦ 中学生の地域活動ボランティア30名が、杉六小、杉七小に向いて土曜授業を行いました。中学校の1日や行事、授業や部活動など6年生が知りたいことを、タブレットで作成した資料を見せながら分かりやすく説明しました。</p>
<p>④ R7.9.24(水) 9:00～10:30</p> <p>⑤ 阿佐ヶ谷中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 30名</p> <p>⑦ 教育委員会事務局学校支援課部活動改革担当より「中学生の放課後等活動の充実に向けて～部活動の地域展開～」をテーマに情報共有をいただきました。中学生の放課後活動がどう変わっていくか、これからの風景をイメージすることができました。</p>	<p>春の子どもまつり</p> <p>④ R8.3.7(土) 13:30～16:00</p> <p>⑤ 阿佐ヶ谷中学校 アリーナ/家庭科室/開放会議室</p> <p>⑦ 地域の方々や子どもたちに楽しんでもらえるイベントにしたいとミーティングを重ね、エコ活動も意識して準備しました。時に意見が激しくぶつかることもありましたが、ボランティアメンバーそれぞれが才能を発揮して魅力的なイベントを作り上げました。</p>

① 東田中学校区地教連 (鈴木 春乃・神戸 朱里)	
懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 鳥居 利至 (東田中学校校長)</p> <p>③ 「心を育てる」 ～家庭・学校・地域の役割とその連携を深める～</p> <p>④ R7.6.24(火) 14:00～16:00</p> <p>⑤ 東田中学校 第二会議室</p> <p>⑥ 20名</p> <p>⑦ 自己紹介、近況報告に続き、地教連構成員の方々ともっと親しくなりたいと思い「実は私〇〇なんです」というお題で発表をしてもらいました。初の試みでしたが大変盛り上がり、皆さんとの距離が縮まった気がしました。</p>	<p>② 大小島 恵美 (東田中学校PTA会長)</p> <p>③ 「ANYSHING OK!2025」～東田祭～</p> <p>④ R7.12.20(土) 13:00～15:30</p> <p>⑤ 東田中学校</p> <p>⑥ 250名</p> <p>⑦ ミニ学園祭をイメージして1学期から実行委員を募集、最終的に12名の中学生が集まってくれました。「やってみよう」を叶えるため何度も話し合い、飲食コーナー、お化け屋敷、ゲームコーナー等アトラクションが決定。当日はたくさんの小学生が来場、連日遅くまで準備を頑張っていたお化け屋敷では怖すぎて泣き出す小学生も。また、舞台発表では東田中学校吹奏楽部、杉二小学校ウインドバンド、東田小学校ダンスクラブが出演、大盛況のうちに幕を閉じることができました。</p>
<p>④ R8.2.19(木) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 東田中学校 第二会議室</p> <p>⑥ 13名</p> <p>⑦ 子どもの人権について</p>	

① 松溪中学校区地教連 (目黒 由美・村木 由紀)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 篠澤 希美子 (松溪中学校PTA会長) ③ つなげよう ひろげよう 子どもにとってあたたかい地域 ④ R7.6.23(月) 14:00～15:30 ⑤ 松溪中学校 ランチルーム ⑥ 31名 ⑦ 10月開催予定「あそび市」についての説明を行いました。コロナ以前と同様に活気ある「あそび市」を目指したいことをお伝えしました。また、各団体に自己紹介・活動報告をしていただきました。</p>	<p>② 篠澤 希美子 (松溪中学校PTA会長) ③ あそび市 ④ R7.10.11(土) 13:00～15:45 ⑤ 松溪中学校 ⑥ 1,228名 ⑦ あそび市は子育てネットワーク事業と、中学生主体の子促事業が連携して行われる地域のお祭りとして、乳幼児から大人までの参加があります。中学生ボランティアの自主性を引き出す取り組みとして、生徒会を中心に活動を進め、地域の様々な団体のご協力をいただきながら運営しています。今年度も昨年度と同じく、コロナ以前と同様の規模での開催を目指し、飲食ブースの再開、また中学生ボランティアの自主性を中心に活動できるように企画しました。久しぶりに地域の方々をおもてなしする松溪中生の笑顔が見られ、感慨もひとしおでした。来年度も各団体と連携してより良いあそび市にしていきたいと思ひます。</p>
<p>④ R8.2.25(水) 14:00～15:30 ⑤ 松溪中学校 ランチルーム ⑥ 25名 ⑦ 今年度の事業報告及び、各団体の活動報告、情報交換を行いました。情報交換の際に、「あなたの好きな一曲」を言っていただいたことによって、堅苦しい雰囲気が和み、穏やかな懇談会になりました。また来たいと思ってもらえるよう、これからも工夫を凝らした懇談会を目指したいと思ひます。</p>	

① 東原中学校区地教連 (河野 知恵子)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 鳥居 タ子 (東原中学校校長) ③ 子どもたちの育ちを支える地域コミュニティづくり ④ R7.7.3(金) 10:00～11:45 ⑤ 東原中学校 特別活動室 ⑥ 33名 ⑦ 自己紹介や活動報告を交えつつ各学校や地域団体、町会との情報交換。今年度の子促事業は地域のイベントへのボランティア参加と菜園作りにチャレンジをしていくこととしました。</p>	<p>② 鳥居 タ子 (東原中学校校長) ③ チーム東原 ④ R7.6.5(木)～R8.3.31(火) ⑤ 東原中学校 「東原ファーム」菜園づくり ④ R7.11.22(土) 13:00～16:00 ⑤ 杉九小学校 学童クラブ室「すぎくろ秋祭り」キャンディレイワークショップ ⑥ 8名 ④ R7.12.6(土) 10:30～14:30 ⑤ コミュニティふらっと東原「クリスマスマーケット」オーナメント作りワークショップ ⑥ 5名 ④ R8.1.22(木)～2.2(月) 16:00～16:40 練習会、R8.2.4(水) 14:30～16:00 大会 ⑤ 杉九小学校・学童クラブ室「百人一首大会冬の陣」サポーター ⑥ 29名 ⑦ 「チーム東原」と称して企画ごとに中学生ボランティアの参加呼びかけを行い、各企画を盛り上げました。今後はより子どもたちの自主性を大切にしたい実行委員会の形に育てていけるように継続したいと思ひます。今年度より学校支援本部との協働で校舎東側の園芸スペースにて畑活動をスタート。トマト、ナス、ピーマンなどの夏野菜の収穫と大根など冬野菜も育成中。</p>
<p>④ R8.2.3(火) 10:00～12:00 ⑤ 東原中学校 特別活動室 ⑥ 28名 ⑦ 「“その子らしく” 学校生活を送るために地域の大人ができること」というテーマで、東原中学校での「MyRoom(不登校支援教室)」の運営から見えてきたことや、子どもたちの特性、困り感への寄り添い方・支え方をみなさんと懇談しました。鳥居校長による支援学校でのご経験談や、公平と平等についてなど気づきが多い時間になりました。</p>	

① 中瀬中学校区地教連 (白瀬 理恵・内藤 由香)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 辻 成一郎 (中瀬中学校校長) ③ 学校・家庭・地域の連携「育てよう ころろ豊かな子どもたち」 ④ R7.6.13(金) 10:30～12:00 ⑤ 中瀬中学校 会議室 ⑥ 37名 ⑦ 委員の自己紹介後、中瀬中学校区(中瀬中・桃五小・八成小・沓掛小)の校長先生方より学校の様子を共有いただきました。子促事業「中瀬フェスタ」について概要を確認したあと、「地域の子どもの姿を見て、印象に残っているできごと」というテーマでグループ懇談を実施。最後に情報交換を行い、学校と地域の「顔がみえる」関係を作る場のひとつとなりました。</p>	<p>② 辻 成一郎 (中瀬中学校校長) ③ フェスタ2025 ④ R7.10.11(土) 14:00～16:00 ⑤ 中瀬中学校 校庭、仮設体育館、仮設校舎 ⑥ 532名 ⑦ 昨年に続き、校舎改築工事中という限られたスペースで準備を進めていましたが、当日あいにくの雨模様になり、急遽、模擬店の会場を校庭から校舎に変更しての開催となりました。落ち着かない状況ながらも、実行委員の生徒たちは、来場者への呼びかけを工夫したりと臨機応変に対応し、地域の方、子どもたちに楽しんでもらおうと頑張っていました。学校や地域、PTAの皆さまの柔軟なサポートもとても心強かったです。一方、いつもとは違う状況での課題も出ました。天候などの理由でイレギュラーな対応が必要になることはあり得ますので、今後、この経験を活かしたいと思ひます。</p>
<p>④ R8.3.5(木) 9:40～12:00 ⑤ 中学校 開放会議室 ⑦ 中瀬中の新校舎引き渡しに合わせ、日程を変更して開催。授業参観、作品展の見学のあと、内覧の場を設けました。その後、「来年度の中瀬フェスタ」をテーマに懇談会を行いました。現校舎の解体工事により、例年会場としている校庭が使えなくなるため、地域との交流の場としてどのような形がよいか、意見やアイデアを出し合いました。</p>	

① 井荻中学校区地教連 (大盛 悦子・芦 秋子)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 長谷川 学 (井荻中学校校長)</p> <p>③ 「生きる力をはぐくむ地域」～輪から環へ～ 「変化する子どもの居場所を知る」</p> <p>④ R7.9.24(水) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 桃井第一小学校 家庭科室</p> <p>⑥ 37名</p> <p>⑦ 桃井第一小学校を授業参観後、その後井荻中・桃一小・四宮小の校長先生にそれぞれの学校の様子などのお話を伺い、委員自己紹介と情報交換を行いました。</p>	<p>② 長谷川 学 (井荻中学校校長)</p> <p>③ 井荻中部活動体験&見学ツアー&昔あそび</p> <p>④ R7.7.5(土) 14:00～16:30</p> <p>⑤ 井荻中学校</p> <p>⑥ 352名</p> <p>⑦ 小学1年生～3年生は昔あそび、小学4年生～6年生は部活動体験&見学ツアーをしました。子ども実行委員会が中心となり、PTAと地域の方にサポートしていただき開催いたしました。昔あそびではやり方を教えたり、一から手作りした道具と一緒に遊んだり子ども実行委員が頑張っていました。部活動体験では部活動代表者を中心に小学生に丁寧に指導していました。見学ツアーでは、子ども実行委員がツアーコンダクターとなって各部活を案内し、紹介・説明している姿がとても頼もしかったです。</p>
<p>④ R8.1.28(水) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 井荻中学校 多目的室</p> <p>⑥ 26名</p> <p>⑦ 桃一小校長・高橋浩平先生よりインクルーシブ教育についての講演会を行い、その後、井荻中・桃一小・四宮小の校長先生にそれぞれの学校の様子などのお話を伺い、グループに分かれ懇談し、懇談内容の発表と情報交換を行いました。</p>	

① 井草中学校区地教連 (新 理恵子・小林 朱実)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 小美濃 英幸 (善福寺町会会長)</p> <p>③ 地域の連携を深め、子どもたちの「地域を大切に思う気持ち」を育む</p> <p>④ R7.6.28(土) 14:00～16:00</p> <p>⑤ 井草中学校 多目的室</p> <p>⑥ 20名</p> <p>⑦ 令和7年度は、懇談会「校長先生のお話を聞く会」のタイトルで、新たに着任された今泉校長先生にこれまでのご経験、学校運営のお考え等お話しいただきました。さらに、昨年度の子促事業である部活動体験会の実施報告等を行いました。</p>	<p>② 小美濃 英幸 (善福寺町会会長)</p> <p>③ 「知りたい! 教えて! 部活動体験」</p> <p>④ R7.11.22(土) 13:10～16:30</p> <p>⑤ 井草中学校</p> <p>⑥ 86名</p> <p>⑦ 第1回実行委員会を5月13日(火)に開催し、実施日までに合計で8回の実行委員会を開催しました。今年度は10名の実行委員で、何をするかだけでなく、小学校への連絡、訪問から各部へのお願い等、自ら進んで実行して行く事ができました。各部の代表を集め、小学生にいかに楽しんで部活動の経験をしてもらうかの説明や飾り付け等も積極的に楽しんで準備していました。実施日は大盛況で、前半、後半に分けて開催しましたが、スムーズに行えたと思います。</p>

① 荻窪中学校区地教連 (会田 洋子・山崎 愛)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 田中 奈那子 (荻窪中学校学校運営協議会会長)</p> <p>③ みんなのしあせを考えると 学校・家庭・地域の連携</p> <p>④ R7.7.14(月) 15:30～17:00</p> <p>⑤ 井荻小学校 体育館</p> <p>⑥ 36名</p> <p>⑦ 「家庭教育力の変化を考える。～学校ができること、地域の関わりを探る～」時代や社会環境の変化に伴い、家庭の様子も大きく変化していることに焦点をあて、子どもたちのために学校・地域・家庭が思うことのできることをグループに分かれ話し合いました。</p>	<p>② 白川 浩 (荻窪中学校校長)</p> <p>③ 荻中フェスタ</p> <p>④ R7.12.13(土) 13:30～15:30</p> <p>⑤ 荻窪中学校</p> <p>⑥ 190名</p> <p>⑦ 荻中生の子ども実行委員会が中心となり、有志や参加部活動の協力を得て企画運営を行い、近隣小学生対象のフェスタを開催しました。お化け屋敷、射的、クイズ、ウォーリーを探せ、軽音部ライブハウス、バスケットシュートで選手権、バレー部バレーでの的あて、茶道部和の間、美術部みんなでハッピードローウィング、パンづくり部～ダブルピングでプレゼント、吹奏楽部演奏、起震車体験など。</p>
<p>④ R7.12.18(木) 15:30～17:00</p> <p>⑤ 桃井第三小学校 体育館 ⑥ 38名</p> <p>⑦ 「杉並区子どもの権利に関する条例と、子どもの権利について」前半は杉並区子どもの権利救済委員の谷川由起子氏を迎え、R7年度4月施行の条例について講演を行いました。後半はグループに分かれ、子どもの権利について話し合いました。</p>	

① 宮前中学校区地教連 (長澤 淳子・奈良崎 智宏)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 小寺 正芳 (宮前中学校同窓会会長)</p> <p>③ 「広げよう地域の輪・つなげよう地域の心」</p> <p>④ R7.6.25(水) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 宮前中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 35名</p> <p>⑦ 「宮前スマイル広場2024」の会計報告および、今年度の実施内容(予定)について。各小中学校、地域団体からの情報交換。</p>	<p>② 小寺 正芳 (宮前中学校同窓会会長)</p> <p>③ 「宮前スマイル広場2025」</p> <p>④ R7.12.6(土) 13:00～16:00</p> <p>⑤ 宮前中学校</p> <p>⑥ 613名</p> <p>⑦ 第一部はイベントコーナーを実施。「やりたい事をやろう」をスローガンに実行委員の企画を展開。お化け屋敷、「ケビンを探せ!」、バルーンアート、ヨーヨー釣りなどを実施しました。第二部の舞台発表では、宮前中学校のダンス部、吹奏楽部、E組による演劇、荻窪小学校のキッズソーラン、管楽器クラブが発表し、地域の来場者が楽しめるイベントとなりました。</p>
<p>④ R8.2.26(木) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 宮前中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 29名</p> <p>⑦ 「宮前スマイル広場2025」について報告 講演会「わくわくから始まる子どもの未来 ～子どものやる気を引き出す大人の関わり～」 講師：認定NPO法人キーパーソン21 チーム東京担当 根田愛氏</p>	

① 富士見丘中学校区地教連 (岡田 美津江・毒島 さつき)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 横田 和長 (富士見丘中学校校長)</p> <p>③ 「つくろう ふれあおう 子どもが輝くあたたかい地域」</p> <p>④ R7.5.23(金) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 富士見丘中学校 特活室</p> <p>⑥ 31名</p> <p>⑦ 高井戸警察署少年係、荻窪消防署、杉並消防署より、最近の情報などのお話と、各小中学校・地域団体より近況や今後の行事予定についての情報交換。活動紹介と合わせ、各自好きなもの、はまっているものについて一言話していただきました。</p>	<p>② 横田 和長 (富士見丘中学校校長) ③ 浴風会での花だん作り ④ 年間を通じた活動 ⑤ 社会福祉法人 浴風会</p> <p>⑥ 288名 ⑦ 高齢者や地域の方々とのふれあいを目的に始まった花だん作りも27年目になりました。6月には夏花のマリーゴールドとペゴニアとサルビア、11月にパンジーを植えました。中学生が授業内で土おこしを行い、花植え当日は、小学生に花の植え方を説明しながら一緒に植えました。7・8月と2・3月に、分担して雑草取りもしています。</p>
<p>④ R7.11.27(木) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 富士見丘中学校 特活室</p> <p>⑥ 27名</p> <p>⑦ 高井戸警察署、荻窪消防署、杉並消防署よりお話の後、【「杉並区子どもの権利に関する条例」について考える】をテーマに、杉並区子どもの権利救済委員である杉山雅宏氏に講演をしていただきました。</p>	<p>③ ふじぶん ④ R7.9.27(土) 13:00～16:00 ⑤ 富士見丘中学校 体育館 ⑥ 361名 ⑦ 今年で2回目となる地域文化祭を開催しました。今年は9月の開催だったので準備期間が短かったのですが、中学生の実行委員会がポスターやプログラムを準備し、当日の運営を担いました。また今年は二次元コードで受付するプログラムを実行委員が作成し、来場者アンケートを行いました。中学生、近隣小学生、教員、PTA等、様々な出演者が参加し、合唱やダンス、スライドショーの上映などの演目を多くの来場者に楽しんでいただけたと思います。</p>

① 高井戸中学校区地教連 (奥山 美奈子・安部 音羽)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 隅田 登志意 (高井戸中学校校長)</p> <p>③ 子どもたちの健やかな成長のため、地域の連携を図る</p> <p>④ R7.7.7(月) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 高井戸中学校 多目的室</p> <p>⑥ 31名</p> <p>⑦ 前半に今年度の予定など各学校、警察署、消防署からお話をいただき、後半は少人数のグループに分かれ、自己紹介とこの地域のいいところ好きなところを挙げていただき意見交換、また防犯対策についての情報交換を行いました。</p>	<p>② 武井 宗義 (高井戸中学校学校運営協議会会長)</p> <p>③ 高中ミニコンサート</p> <p>④ R7.12.6(土) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 高井戸中学校 体育館</p> <p>⑥ 601名</p> <p>⑦ 高井戸中学校生徒の有志20名で子ども実行委員を立ち上げ、企画、宣伝、装飾、司会進行など、学校生活ではなかなか出来ない事を中学生中心に進めました。近隣の高井戸小・浜田山小・高井戸東小の有志は素晴らしい演奏・合唱・ダンスで参加してくれました。高井戸中からは、吹奏楽部・和太鼓部・手話&ダンス部が参加しました。前日準備、当日の片付けなどでは、小中学校のPTAや中学校の部活動終わりの生徒たちなど多くの方々にご協力いただき交流が深まりました。</p>
<p>④ R8.2.27(金) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 高井戸中学校</p> <p>⑥ 29名</p> <p>⑦ 講演会「杉並区子どもの権利に関する条例について」 講師：杉山雅宏氏 (子どもの権利救済委員)</p>	

① 向陽中学校区地教連 (河井 貴子・瀧口 志保)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 高津 憲 (向陽中学校校長)</p> <p>③ 「学校・地域・家庭の連携」 ～こどもたちの健やかな成長を願って～</p> <p>④ R7.7.1(火) 14:30～16:30</p> <p>⑤ 向陽中学校 被服室</p> <p>⑥ 31名</p> <p>⑦ 委員紹介後、永福小学校校長の難波先生より「子ども達の主体性を育てるために～永福小学校の教育活動から～」のテーマでお話いただきました。その後グループに分かれて懇談し、懇談内容の発表と情報交換を行いました。</p>	<p>② 高津 憲 (向陽中学校校長)</p> <p>③ 向陽こどもまつり</p> <p>④ R8.3.7(土) 10:00～12:00</p> <p>⑤ 向陽中学校 体育館</p> <p>⑦ 地域の幼保小中の交流を図ることを目的とした「向陽こどもまつり」を開催。生徒会と向陽中学校生徒の有志によるボランティアで、企画・運営に携わりました。今年度は多くの中学生ボランティアが参加し、例年以上の賑わいを見せました。なかでも中学生ボランティアによる綿菓子は大気度、飴で頭をベタベタにしながら綿菓子作りに励んでいる姿は印象的でした。また、中央ろう学校の生徒さんによる手話ゲーム、民生委員の皆様によるバルーンアート、PTAや子ども・子育てプラザの方々によるゲームブースで会場を盛り上げていただきました。吹奏楽部の演奏やダンスの演技は日頃の練習成果のお披露目の場となり、素晴らしいパフォーマンスに会場全体が笑顔で溢れました。</p>
<p>④ R7.10.29(水) 13:30～16:00</p> <p>⑤ 永福小学校 各教室・図書室</p> <p>⑥ 28名</p> <p>⑦ 小中一貫事業の永福小学校公開授業見学後、高井戸警察の方より「自転車ルールについて」と「子どもと女性の被害防止について」を講話いただき、その後グループ懇談を行いました。</p>	

① 松ノ木中学校区地教連 (小林 麻里・澁谷 薫)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 小川 宗次郎 (松ノ木町会会長)</p> <p>③ まつのき地域の子どもたちの生きる力を育てるために一つのチームにならしましょう！「チームまつのき!!」</p> <p>④ R7.6.9(月) 9:30～11:00</p> <p>⑤ 松ノ木中学校 特活室</p> <p>⑥ 30名</p> <p>⑦ 各校長よりこの地域の良さを活かした学校の取り組みについてお話いただき、それをうけてグループトーク。自己紹介では顔見知りになることをねらい、最近面白かったこと・おいしかったものなどを添え、和やかに進みました。</p>	<p>② 小川 宗次郎 (松ノ木町会会長)</p> <p>③ A.松ノ木地域納涼大会 B.堀小こどもフェスティバル C.ふれあいコンサート</p> <p>④ A.7.26(土) 16:30～ B.10.4(土) 12:30～ C.12.6(土) 13:30～15:30</p> <p>⑤ A.松ノ木小学校校庭 B.堀之内小学校体育館 C.松ノ木中学校体育館</p> <p>⑥ A.175名 B.300名 C.426名</p> <p>⑦ 「地域イベントデザイナー」として活動の幅を広げて2年目、生徒たちの希望で今年度も3つの子促を実施しました。Aは今年度は周りの店舗との調整で有料のお店とし、代金に見合った内容を考え、質の向上を図りました。Bは生徒たちの企画で3種のワークショップを実施し、企画力・行動力には目を見張るものがありました。Cはお土産の葉製作、当日の運営に成長が見られ、感想の「先輩カッコよかった」は子促の意義・成果を凝縮した言葉に感じました。</p>
<p>④ R7.11.27(木) 9:30～11:30</p> <p>⑤ 松ノ木中学校 特活室</p> <p>⑥ 33名</p> <p>⑦ 今年度「子どもの権利に関する条例」が施行、相談窓口も開設されたことから、身近な事として研鑽したく企画。3校の全保護者にも参加を募り5名参加。区の取り組みを知ることができよかった等、多数好評をいただきました。</p>	

① 大宮中学校区地教連 (佐藤 幸子・日吉 朋子・吉村 昌子)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p>② 澁谷 達雄 (堀ノ内1・2丁目町会会長)</p> <p>③ 顔の見えるつながりのある地域づくり</p> <p>④ R7.6.5(木) 13:50～15:15</p> <p>⑤ 大宮中学校 体育館</p> <p>⑥ 32名</p> <p>⑦ 「すぎボッチャクラブ」を講師に迎え、ボッチャ体験会を開催。1ゲーム毎のメンバー替えにより委員同士の交流が深まる機会となりました。続く全体会では、自己紹介に思いの一言を添え、和やかな会となりました。</p>	<p>② 関田 誠 (大宮中学校校長)</p> <p>③ なでしこフェスティバル</p> <p>④ R8.3.7(土) 14:00～15:30</p> <p>⑤ 大宮中学校 体育館</p> <p>⑦ ダンス主体の発表会となり5回目。実行委員の生徒は過去最多の生徒会役員を含む20名。彼らが中心となり、役割を分担しながら企画から運営まで取り組みました。ステージでは中学生のダンスや軽音楽だけではなく、大宮小・済美小放課後等居場所事業、堀ノ内子供園等の皆さんも素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。フィナーレの来場者参加型企画では会場が一つになり、最高の盛り上がりの中で幕を閉じました。</p>
<p>④ R7.11.25(火) 14:10～15:45</p> <p>⑤ 大宮中学校 視聴覚室</p> <p>⑥ 28名</p> <p>⑦ 学校支援課より「中学生の放課後等活動の充実に向けて」をテーマに部活動の地域展開に関する説明を頂きました。それを受け参加者が①子どもたちの居場所②放課後の安全についてグループディスカッションを行いました。</p>	

① 和田中学校区地教連 (小森 梨沙・横田 智子)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
② 岩船 守男 (和田青少年育成委員会会長) ③ 子どもたちと共につくる 学校・家庭・地域のネットワーク ④ R7.6.24(火) 14:00～17:00 ⑤ 和田中学校 視聴覚室 ⑥ 31名 ⑦ 懇談会をどのような場にしていきたいか、意見交換を行いました。中学生が地域や学校に望むこと、家庭で望むことなど生の声が聴きたい等の意見がありました。	② 村山 忠久 (和田中学校校長) ③ ボランティア活動 ④ R7.7.11(金)、R7.8.2(土)中止、R7.10.12(日)、R7.10.25(土)中止、R8.2.11(水・祝) ⑤ 和田中央児童館、和田小学校、立正佼成会育成館等 ⑥ 33名 ⑦ 和田中央児童館主催の盆踊りや和田自治協会の秋祭り、和田一丁目町会の餅つき大会のお手伝いを行いました。8/2の和田一丁目町会夕涼み会と10/25のNPO法人主催イベントは、台風の影響を考慮して中止となりましたが、多数のボランティア応募がありました。
④ R7.12.17(水) 14:00～16:00 ⑤ 和田中学校 視聴覚室 ⑥ 37名 ⑦ 株式会社ステップ総合研究所所長・清永奈穂氏に進行をお願いし、「和田中学校区の地域防犯を考える」をテーマに、実際の危険な場面にどのように対応するのかグループで話し合い、発表を行いました。	
④ R8.3 発行 ⑦ 広報紙 1,500部	

① 西宮中学校区地教連 (齋藤 千帆・丸山 麻由)

懇談事業	子ども地域活動促進事業
② 西村 文孝 (杉並区議会元副議長) ③ あいさつと笑顔でつなぐ子どもと地域 ④ R7.6.2(月) 10:00～11:30 ⑤ 西宮中学校 2F 多目的室 ⑥ 30名 ⑦ 地域教育連絡協議会の概要説明と規約の確認、構成メンバー・役職紹介、自己紹介、年間計画と内容(案)、情報交換等	② 廣田 香乃子 (西宮中学校PTA会長) ③ 西宮冒険記(アドベンチャー) ④ R7.11.29(土) 13:30～15:15 ⑤ 西宮中学校 ⑥ 410名 ⑦ 昨年同様小学5、6年生対象に部活動体験、小学3年生以上を対象に学校見学ツアーも実施しました。今年は新たな試みとして活動の前に体育館で中学生による学校紹介を行いました。プロジェクターを活用したプレゼンはユーモアがあり、手慣れた感じで小学生たちに大受けでした。その後いい流れで体験、見学ツアーができました。今年度も中学生ボランティアを募集し、チラシやプラカードの作成、当日のツアーコンダクター等、昨年よりもパワーアップした活躍してくれました。
④ R8.2.10(火) 10:00～11:30 ⑤ 西宮中学校 2F 多目的室 ⑥ 27名 ⑦ 荻窪消防署西荻窪出張所長・島辻秀和氏による講演会「地域防災～その歴史とこの地域でできること～」 防災の歴史、防災の必要性、地域でできることや必要なこと、質疑応答	

① 泉南中学校区地教連

懇談事業	子ども地域活動促進事業
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">活 動 休 止 中</p>	

① 天沼中学校区地教推 あまめまスマイル委員会 (大橋 ゆかり)

- ② 田中 一恵 (天沼青少年育成委員会副会長)
- ③ 「だれにも やさしいまち 天沼」をテーマに地域内にある組織・活動のネットワークの広がりを活かし地域社会全体で子どもの育成や教育に取り組んでいます。

◇全体会

- ④ 第1回 R7.5.21(水)
- ⑤ ウェルファーム杉並
- ⑥ 31名
- ⑦ 自己紹介、前年度の活動報告、今年度の活動について
- ④ 第2回 まちの懇談会 R8.3.12(金)
- ⑤ 天沼中学校体育館
- ⑦ 地域活動についてディスカッション

◇運営委員会

- ④ R7.4.23(水)、R7.11.26(水)、R8.2.18(水)

- ⑤ 天沼中学校視聴覚室

- ⑥ 22名、23名、17名

◇事務局会議 原則毎月第2水曜日 天沼中学校校長室

～今年度の事業～

- わかば祭り(杉並区立重症心身障害児通所施設わかば)

- ④ R7.7.19(土) ⑤ 旧若杉小学校体育館

- ⑦ 天沼中学生がボランティアとして参加

- 天沼小防犯教室

- ④ 低学年R7.9.27(土) 高学年R7.11.19(水)

- ⑤ 天沼小学校アリーナ

- ⑥ 児童32名、大人32名、児童58名、大人10名

- ⑦ 講師：株式会社ステップ総合研究所所長 清水奈穂氏

- たのしさバクハツ!天沼まつり(上荻・天沼児童館)

- ④ R7.10.13(月)

- ⑤ 天沼小学校 アリーナ

- ⑥ 子ども239名 大人270名

- ⑦ 地教推は通学路マップブースにて地域交流

- ほんあまめま縁日

- ④ R7.11.8(土)

- ⑤ 沓掛小体育館

- ⑦ 地教推は通学路マップブースにて地域交流

- 天沼中学校国際理解授業地区公開講座

- ④ R.10.18(土)

- ⑤ 天沼中学校体育館

- ⑦ 天沼中の生徒や地域の方に参加していただき、異文化交流をする

- 子育て講演会

- ④ R8.2.14(土)

- ⑤ コミュニティふらっと本天沼

- ⑦ 講師：山川恵子氏 テーマ「9歳の壁」

- 荻窪警察出張講座

- ④ R8.2.14(土)

- ⑤ 天沼中学校視聴覚室

- ⑦ 地域の道について危険個所や心配なことについて質問し、また4月から行われる自転車の法改正について学ぶ

- エコキャップ回収活動

- ④ R7.5.22(木)、R7.12.19(金)、R8.3.6(金)

- ⑤ 天沼中学校区の地域7拠点

- スマイルニュース R7.10月発行 4,000部

- その他 スマイルバッジ・スマイルポスター地域配布

① 高円寺地区地教推 高円寺うきうきプロジェクト (杉本 昌代・鳥切 智予美)

- ② 高田 芳作 (高円寺学園学校運営協議会会長)
- ③ 高円寺を一つの場として捉え、次世代の育成はじめ、高円寺という街を皆で作り上げていくため地域と家庭と学校が一体となったネットワークの構築とその活動の推進。

懇談会事業

- 高円寺会議～第5ラウンド～

- ④ R8.3.9(月) 16:00～18:00

- ⑤ セシオン杉並 第8・9・10会議室

- ⑦ 地域と学校の連携「学校づくりとまちづくり」

次世代育成事業

- はぴはぴフェスティバル

- ④ R7.7.26(土) 13:10～16:00

- ⑤ 高円寺学園 大アリーナ・多目的・ランチルーム・交流ホール

- ⑥ 728名

- ⑦ 高円寺地域のおまつりを中学生でつくり、高円寺のまちを盛り上げていこう」を合言葉に高円寺学園中学部生徒有志で結成された子ども実行委員会を中心に、ゲームやステージ発表を企画。それぞれがやりたい事、やってみたい事を話し合い意見交換しながら地域の方のお力もお借りして活動を進めています。今年度は開催時間を少し延長しステージ発表としては「未成年の主張」を開催。色々な熱い思いが主張され参加者もスタッフも一緒になって楽しむことができました。

- 高円寺ゆめ音楽祭

- ④ R7.12.20(土) 10:00～12:10

- ⑤ 高円寺学園 大アリーナ

- ⑥ 694名

- ⑦ 参加団体：杉三小音楽教室、杉十小音楽教室、高円寺学園天鼓隊・小学部音楽教室・中学部吹奏楽部、高南中吹奏楽部

- 高円寺地域の音楽祭として今年度で13回目の開催。合唱・吹奏楽・和楽器をそれぞれ発表し、お互いの演奏を聞き合う事で音楽の素晴らしさを感じ楽しんでます。最後の全員合唱「翼をください」は高円寺中と高南中吹奏楽部の合同演奏による伴奏での合唱で会場が一つになり、とても感動的でした。参加児童・生徒には記念のクリアファイルを配布しました。

- 高円寺地域イベントカレンダー

- ④ R7.9、R8.3発行

- ⑦ 発行部数 5,000部 子どもたちに関わるイベント情報をMAP入りで作成しています。

- 広報誌「うきうき通信」

- R8.3 発行 5,000部

① 杉並和泉学園校区地教推 あすをりなすの会 (橋本 梨江)

- ② 吉橋 正美 (元青少年委員協議会会長)
- ③ 地域ネットワークの発展、多様な世代交流を通し、ふるさと和泉を実感し誇りに思える地域づくり
- ◆運営委員会
- ④ R7.6.11(水) 16:30～
- ⑤ 杉並和泉学園 学園長室
- ⑥ 15名
- ～今年度の事業～
- さざんかフェスタ2025
- ④ R7.7.12(土) 14:00～16:00
- ⑤ 杉並和泉学園
- ⑥ 731名
- ⑦ 小学生・中学生が自主的に地域行事に参加しました。今年度は放課後等居場所事業・校外学童の小学生たちも参加し、小学生はオープニングダンスを披露、ゲーム屋さんを企画、準備、運営を行いました。中学生は食べ物屋さんを中心に、各ブース毎に企画、準備、運営を行いました。小・中学生が共に活動することで、お互いに学び合う良い活動に繋がり、小・中一貫校ならではの活動ができ、実りある地域活動が行えました。
- ふるさと和泉みんなの夏祭り
- ④ R7.8.2(土) 16:50 開場、17:00 開演、20:00 終了
- ⑤ 杉並和泉学園 校庭
- ⑥ 来場者2,619名 参加団体数38団体
- ⑦ 盆踊りの輪が広がり、縁日のにぎわいが会場を包む中、今年も地域に笑顔があふれる一日となりました。「ふるさと和泉 みんなの夏祭り2025」は、天候にも恵まれ、多くの方に来場いただきました。進化した「いずみ大花火」は、ジャンベの音色と相まってフィナーレを華やかに彩りました。

- 和泉親児の会グリーンキャンプ
- ④ R7.9.27(土) 13:00～R 7.9.28(日) 8:00解散
- ⑤ 杉並和泉学園 校庭
- ⑥ 116名
- ⑦ 3・4年生はデイキャンプ、5・6年生は1泊。杉並和泉学園の芝生の校庭でキャンプを実施。テントを張り、かまど作りから火起こし、カレー調理に、キャンプファイヤーの組み立てまで、全て子どもたちで実施。子どもたちが自分で作り上げることにこだわり実施するキャンプです。今年はドローン集合写真を撮り、上映も実施。キャンプファイヤーを囲んでのマイムマイムや、みんなで歌う歌も思い出に残る体験になりました。
- 和泉節分祭
- ④ R8.2.1(日) 13:00～15:00
- ⑤ 杉並和泉学園 小アリーナ
- ⑥ 531名
- ⑦ 鬼に扮装した親児の会、年男・年女の5年生による豆まきや各町会の出店などで大盛況でした。地域サークル「ミモザの会・いずみクラブ」の方々による作品も展示しました。

① 神明中学校区地教推 みんなあつまれ神明の杜 (栗原 由香理・三浦 聡子)

- ② 長張 健二 (神明中学校同窓会会長)
- ③ 神明中学校区に関わる地域のさまざまな環境にある子どもたちの笑顔と主体性を守り、健全育成への支援を通して、大人も子どもも豊かで活力のあるまちづくりに取り組んでいます。
- ◇懇談会事業
- ④ R7.5.29(木) 10:00～12:00 ⑤ 神明中学校 多目的室
- ⑥ 41名 ⑦ R6年度会計監査報告とR7年度の事業予定・予算案。各小学校の校長先生より、生徒の様子や今年度の予定、参加者からは簡単な自己紹介をいただきました。その後グループ懇談を行い、和やかな雰囲気の中、委員同士の距離も自然と縮まりました。
- ※R8.3月は今年度の活動報告の冊子を作成、配布。各事業の主題・取り組みの詳細・所感・展望をまとめる予定です。
- ◇神明祭2025報告会
- ④ R7.9.9(火) 10:30～12:00 ⑤ 神明中学校 多目的室
- ⑥ 28名 ⑦ 神明祭実施報告、会計報告、感想・振り返りを行いました。様々な提案をいただき来年に繋げていきたいと思います。
- ◇運営委員会
- ④ 概ね月一回開催 ⑤ 神明中学校内
- 中学生地域交流事業
- ☆神明祭2025
- ② 清水 美穂 (神明中学校支援本部 本部長)
- ④ R7.7.19(土) 11:00～16:00
- ⑤ 神明中学校 校舎・体育館
- ⑥ 2,440名
- ⑦ 校舎改築のため、今年度は仮校舎での開催となりました。当日は猛暑にもかかわらず、大変多くの来場者に楽しんで

- いただきました。中学生が主体的にお店を運営し、近隣小学校の児童が演目を披露し、地域や同窓会も参加しました。準備から当日までたくさんの方のご協力をいただきました。また今年はSDGsの観点からリユース容器を利用し、大幅なゴミの削減にも繋がりました。来年度も工夫しながら各団体と連携して笑顔あふれるお祭りになりたいと思います。
- 地域交流と学び合いの活動
- ☆上映会
- ④ R7.8.3(日) 16:00～18:00 ⑤ 西荻シネマ準備室
- ⑥ 32名 ⑦ 「男はつらいよ50 お帰り寅さん」を上映。地教推の活動を知っていただくため、幅広い年齢層に見ていただける親しみやすい作品を選びました。
- ☆放課後広場
- ④ 毎週金曜日16:00～18:00 ⑤ 神明中学校 PTA室
- ⑥ 延べ36名 ⑦ 神明祭の準備や、日常において先生以外の大人に気軽に相談出来るよう開放しています。10月には地域のお祭りの景品作りのお手伝いをしました。また、10月と12月は卒業生の保護者の方を講師に迎え、バルーンアート教室を開催しました。ハロウィンとクリスマスの素敵な作品を教えていただき、たくさんの参加者と楽しい時間を過ごしました。
- 広報
- 広報誌「神明の杜通信No.4」 R7.5月発行
- ⑦ 神明祭2024、地域交流と学び合いの活動、未来創造プロジェクト(感謝祭イベント・卒業写真プロジェクト・神明中の今)、学校支援本部って何?、神明中学校区地域教育推進協議会参加団体、地教推運営委員紹介、ホームページのご案内 他



【活動風景】

地域教育連絡協議会(子ども地域活動促進事業)

第1ブロック

荻窪中学校区(荻中フェスタ)



杉森中学校区(杉森祭)



第2ブロック

高井戸中学校区(高中ミニコンサート)



西宮中学校区(西宮冒険記)
アドベンチャー



第3ブロック

大宮中学校区(なでしこフェスティバル)



松ノ木中学校区(松ノ木地域納涼大会)





【活動風景】

地域教育連絡協議会(懇談事業等)

第1ブロック

井荻中学校区(『生きる力を育む地域』～輪から環へ～
「変化する子どもの居場所を知る」)



第2ブロック

富士見丘中学校区
(「杉並区子どもの権利に関する条例」について考える)



第3ブロック

和田中学校区
(和田中学校区の地域防犯を考える)



地域教育推進協議会

天沼中学校区(天沼小防犯教室)



高円寺地区(はぴはぴフェスティバル)



杉並和泉学園校区
(和泉親児の会グリーンキャンプ)



神明中学校区(神明祭2025)





【絆を深める地域活動】

たくさんの出会いがありました

地域で活動を始めて10年が経ちました。近所の方の知り合いが増え、駅への道や、買い物の途中に挨拶を交わすようになりました。関わってきた子どもたちは大学生、社会人になり、頼れる地域の一員です。小学校へは、野鳥観察会のサポーターとして、中学校へは、放課後の学習の講師として来てくれます。PTAの方々との関わりでは、子どもたちとの地域活動をより良いものにするためどうしたらいいか、保護者の立場での考えやアドバイスをもらいました。

青少年委員の活動で思い出深いことは、練馬区や板橋区の青少年委員との交流会で6年前くらいに杉並区の担当のときに、タケカワユキヒデさんをお迎えし地域活動について講演していただいたことがあります。忘れられない活動になりました。

…地域で活動していると、いつもダジャレを言う方がいます。そこに笑い声が聞こえます。なごやかな雰囲気になり、打ち解けていきます。そして、活動の輪が広がっていくのを感じます… (会田 洋子)

関わり続ける姿勢がつくる地域の絆

青少年委員として活動させていただいた9年間は、地域との関わりの中で多くの学びを得た時間でした。今年度をもって任期を終えるにあたり、これまでを振り返り、その思いを記します。

2期目の終わりに立川へ転居しましたが、その後も青少年委員の活動を続けてきました。負担感はありませんでしたが、地域で共に活動してきた方々とのつながりが、私を杉並区へと向かわせていました。地域との関係は、住んでいる場所だけでなく、関わり続ける姿勢によって築かれていくものだと思っています。

担当校を中心に学校・家庭・地域が連携する場に関わってきました。子どもたちを真ん中に据え、大人同士が情報を共有しながら支えていく過程は、地域活動の基盤であり、青少年委員の重要な役割であると感じ

てきました。一方で、コロナ禍により多くの活動が中止や縮小を余儀なくされる時期もありました。人と人が集えない状況を経験したことで、顔を合わせ、言葉を交わす場が地域の絆を支えていたことを改めて実感しました。

活動を通して大切にしてきたことは、子どもたちが主役であるという視点です。人と人、学校と地域をつなぐ役割を担う青少年委員の活動のおかげで私自身も多くの方々につながることで唯一無二の財産となりました。任期は終わりますが、これまで築いてきたご縁を大切にしながら、地域のつながりが今後も受け継がれていくことを願います。皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございます。(目黒 由美)

青少年委員という日々を生きる

8年間、そう名乗ってきたのですが、「青少年委員」という肩書はちょっとユニークだと思うのは私だけでしょうか。地域の子どもの育ちのために学校と地域を走り回り、協議会を組織することで委員同士の繋がりも深めつつ、学びのために研修を重ね…と、かなりのエネルギーで活動している割に一般的に知られていない存在なのは、もしかしたら、この肩書のせいかもしれません。肩書から、どんな働きをしているのか具体的に想像しにくいし、属性もよくわからないからです。ただ、「青少年委員です。」と言って不審な対応をされたことがあったと思い出す一方で、「青少年委員さん！」と誰かから呼ばれるときには、あまり見知らぬ相手でなかったとしても、なぜだかずいぶんと親しく信頼されていると感じたものです。先代の青

少年委員さんたちがそれぞれの地域で真摯に子どもたちのために働いてきた連年の先に、現在の我々の活動があり、今も各中学校区で驚くほど純粋に子どもたちのことを考えて活動をしている、そのことが「青少年委員」という存在そのものの信頼を生み出しているに違いありません。過去も今も変わらず青少年委員はみな、青少年委員として社会を見、何ができるかを考えています。少し大げさに言えば、青少年委員という日々を生きている感じなのだと思います。青少年委員ではなくなる今、私の身体に馴染んでいたあたたかな羽織ものを手放すような寂しさを覚えるとともに、「青少年委員は地味に面白い体験ですよ」と、新しいメンバーにバトンをお渡ししたいと願っています。

(諸橋 記子)



地域の絆が深まる応援活動

青少年委員の活動を始めた10年前と現在の教育現場はいろいろ変化している中、青少年委員の活動目的は変わらず、地域の方々との交流や情報交換、年齢を問わず子ども同士の交流を主とした地域教育連絡協議会・子ども地域活動促進事業を実施し、地域に添い、絆を大切にしてきました。また、担当する学校の校長先生方は協議会の会長、副会長を担ってくださり多くのご協力、ご理解があり青少年委員の活動が活発にできたことをとても感謝をしています。そして、コロナ明けからの地域教育連絡協議会では地域の様々な方々、近隣の小中学校の保護者、担当する小中校関係者との絆が深くなることを目標とし実施していくことで多く

の方から好評をいただきました。子ども地域活動促進事業では、中学生が実行委員として地域の子どもの同士が繋がるように自らの考えをお互いに出し合い、互いの考えを深く理解し合い小学生との交流の場を作ってくれ、実行委員・参加小学生の「笑顔」が溢れていました。青少年委員としては、実行委員の考えを聞ける場や互いに協力し合い準備してくれる状況に応援ができたことがとても嬉しく感じました。そして更に、中学生時代に実行委員を経験した高校生が後輩である実行委員を応援したいと、地域の宝である若者として近年「応援チーム」を作り上げてくれました。(大盛 悦子)

感謝

私が杉並区に引越してきて16年が過ぎました。その半分以上の月日を青少年委員として活動してきたと思うと感慨深いです。振り返ってみるとあっという間のように感じ、楽しかったことだけが残っています。しかし、その時その時では、嫌なことも辞めたくなることもありました。そんな時に同じ中学校区担当の青少年委員さんや協議会の皆さんがいてくれたことで10年間続けてこられたのだと思います。相談し、助け合い、時には愚痴を言い合いながら笑ったり・怒ったりと同じ時間を過ごしてくれた仲間がいたからです。形や方法は異なっても「子どもに対する思い」が同じ仲間がいるのは、とても心強かったです。また、青少年委員の活動をしている中で、青少年を取

り巻く多くの方と知り合い、対話をするのが出来ました。そこから社会教育の一步を踏み出すことも出来ました。私にとって、この10年間の経験や体験、皆さんと過ごした時間は宝物です。

最後の2年間は、こんな私のもとで一緒に活動し、支えていただき本当に感謝でいっぱいです。そして、今までお力添えいただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。これからも「一期一会」を大切に、色々な人との出会いを楽しみたいと思います。

最後になりますが、自分が“わくわく”するような活動を皆さんも私も実現できたらと願っています。

(岡田 美津江)

地域に感謝

自分の子どもがこのまちで育ち、日々の中で楽しいことや嬉しいことを経験できたのは、地域で見守り支えてくださる多くの方々のおかげだと感じています。子どもが卒業した学校があと3年で統廃合となる時に「3年だけでいいから」と青少年委員を引き受けてほしいと声をかけていただきました。ところがその後、コロナ禍で新校の開校が1年延期となり、活動も思うようにできないまま退任の機会を逃し、気付けば10年間、地域の子どもの育ちを支える活動に携わることになりました。

青少年委員になった当初は、担当校では子促活動が途絶えており、中学生が主体的に地域と関わる場がありませんでした。そこで「中学生が地域と何ができるか」を子どもたちと一緒に考えるところから始めまし

た。そこから生まれた「高円寺のおまつりを中学生でつくり、高円寺のまちをもりあげていこう!」という思いは地域の方々にも広がり、今では“はぴはぴフェスティバル”として続いています。

一昨年度には青少年委員制度70周年を迎え、青少年委員協議会では小中学生対象の記念講演会としてQuizKnockの須貝駿貴氏にご講演いただきました。担当校以外の子どもたちや私立校に通う子どもたちも、同じ「杉並の子ども」として大人とともに考え学び合う貴重な時間となり、深く心に残っています。

このまちで、子どもたちとともに考える。そして、地域で育ち、地域で育てる。その理想のような関係を当たり前のように支えてくださる皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。(杉本 昌代)

青少年委員協議会 令和7年度 年間活動状況

月	日	曜日	事業活動・派遣関係
4	14 18	月 金	社会を明るくする運動推進委員会 第1回実務部会 すぎなみ舞祭 第1回実行委員会
5	14 19 21 27 28 28 29 31	水 月 水 火 水 水 木 土	すぎなみ舞祭 第1回企画・広報部会 社会を明るくする運動推進委員会 第1回推進委員会 中・高生委員会事務局協力員委嘱式(高井戸児童館) ふれあい運動会 第1回実行委員会 中・高生委員会事務局協力員委嘱式(四宮森児童館) 中・高生委員会事務局協力員委嘱式(堀ノ内東児童館) すぎなみ舞祭 第1回設営・出店部会 中・高生委員会事務局協力員委嘱式(子ども・子育てプラザ善福寺)
6	2 5 12 25	月 木 木 水	社会を明るくする運動推進委員会 第2回実務部会 すぎなみ舞祭 第2回企画・広報部会 すぎなみ舞祭 第3回企画・広報部会 すぎなみ舞祭 第2回設営・出店部会
7	1 2 7 9 15 18 27	火 水 月 水 火 金 日	杉並区社会教育委員の会 社会を明るくする運動推進委員会 第3回実務部会 すぎなみ舞祭 第2回役員会 ひまわりフェスタ パネル展示(1階ロビー) ふれあい運動会 第2回実行委員会 ひまわりフェスタ従事者説明会 ひまわりフェスタ
8	9 28	土 木	杉並区立郷土博物館運営協議会 すぎなみ舞祭 第4回企画・広報部会
9	1 9 11	月 火 木	杉並区社会教育委員の会 ふれあい運動会 第3回実行委員会 すぎなみ舞祭 第3回設営・出店部会
10	3 6 7 10 10 11 19 19 21 26 27	金 月 火 金 金 土 日 日 火 日 月	ふれあい運動会 従事者説明会 駅頭広報活動(荻窪駅) 駅頭広報活動(高円寺駅) 駅頭広報活動(永福町駅) すぎなみ舞祭 第2回実行委員会・従事者説明会 ふれあい運動会 堀ノ内東児童館地域中・高校生委員会(ほりとんまつり) すぎなみ舞祭 青少年問題協議会 高井戸児童館中・高校生委員会(高井戸久我山子ども秋まつり) 杉並区社会教育委員の会
11	1 13 28	土 木 金	杉並区立郷土博物館運営協議会 ふれあい運動会 第4回実行委員会 社会を明るくする運動推進委員会 第5回実務部会
12	11 14 15 24	木 日 月 水	すぎなみ舞祭 第3回実行委員会 中学校対抗駅伝大会 杉並区社会教育委員の会 社会を明るくする運動推進委員会(第2回)
1	12	月・祝	二十歳のつどい
2	1 4 6 7 12 22	日 水 金 土 木 日	杉並区立郷土博物館運営協議会 社会を明るくする運動推進委員会 第6回実務部会 杉並区社会教育委員の会 地域中・高校生委員会報告会 ファミリー駅伝 従事者説明会 ファミリー駅伝
3	5 9 20 23 23 26 27	木 月 金・祝 月 月 木 金	ふれあい運動会 監査 社会を明るくする運動推進委員会 第7回実務部会 杉並区立郷土博物館運営協議会 青少年問題協議会 すぎなみ舞祭 令和8年度第1回役員会 すぎなみ舞祭 監査 健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会

月	日	曜日	定例会・全体会・役員会等	日	曜日	専門部会	日	曜日	ブロック会
4	17 24	木 木	三役会 拡大役員会	11 21	金 月	研修部会*(基礎研修打合せ) 研修部会*(基礎研修打合せ)			
5	15 29	木 木	基礎研修・全体会 三役会	15 15 15 28	木 木 木 水	研修部会 広報部会 地域交流部会 広報部 だより84号打合せ			
6	5 26	木 木	役員会 三役会	16	月	研修部(委員研修講師打合せ*)			
7	3 17	木 木	役員会 委員研修・全体会	17 17 17	木 木 木	研修部会 広報部会(だより84号配布作業) 地域交流部会			
8	28	木	三役会						
9	4 18 25	木 木 木	拡大役員会 実技研修・全体会 三役会	18	木	研修部会(自主研修検討)			
10	2 16 30	木 木 木	役員会 他団体との交流会 三役会	16	木	広報部会			
11	6 20 27	木 木 木	役員会 定例会・全体会 (ブロック別) 三役会	20	木	研修部会	12	木	2ブロック研修会(荻外荘見学)
12	4 25	木 木	役員会 三役会	4	木	広報部 だより85号・実践集録 打合せ	10 18	水 木	3ブロック研修会(麻雀体験) 1ブロック研修会 (荻窪散策&地域の歴史を訪ねて)
1	8 15 29	木 木 木	拡大役員会 自主研修(JICA見学) 三役会						
2	5 19 26	木 木 木	役員会 定例会・全体会・互選会 三役会	19 19	木 木	広報部会(だより85号配布作業) 研修部会	19 19 19	木 木 木	1ブロック会 2ブロック会 3ブロック会
3	5 19 26	木 木 木	役員会 定例会・活動報告会 新旧三役会、専門部引継ぎ	19	木	広報部会(実践集録配布作業)			

杉並区青少年委員協議会 規約

第1章 名 称

第1条 本会は、杉並区青少年委員協議会と称し、連絡場所を杉並区教育委員会事務局学校支援課に置く。所在地は、杉並区阿佐谷南一丁目15番1号とする。

第2章 会 員

第2条 本会は、杉並区青少年委員(以下「委員」という)をもって構成する。

第3章 目 的

第3条 本会は、杉並区青少年委員に関する規則第2条の規定による職務の円滑な遂行のための調整、相談、共同活動等を組織的、計画的に進めるとともに、青少年関係諸団体相互の連絡調整を図る。さらに、委員の資質の向上を図るための研修を深め、地域活動における青少年の参画を図り、青少年健全育成を推進することを目的とする。

第4章 役員及び会計監査

第4条 本会に、次の役員及び会計監査を置く。

- ① 会 長 1名
- ② 副 会 長 2名
- ③ 会 計 2名
- ④ 書 記 2名
- ⑤ ブロック長 3名
- ⑥ 専門部長 3名
- ⑦ 会計監査 2名

第5条 役員及び会計監査は、次の職務を行う。

- ① 会 長 会を代表し会務を総括する。
- ② 副 会 長 会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。
- ③ 会 計 本会の会計事務を行い、監査を経て全体会に決算報告をする。
- ④ 書 記 本会の議事及び活動に関する事項を記録する。
- ⑤ ブロック長 ブロック会を招集し、その連絡調整にあたる。
- ⑥ 専門部長 担当する専門部を取りまとめる。
- ⑦ 会計監査 本会の会計を監査し、全体会に報告する。

第6条 役員及び会計監査は、選挙規定に従い選出し、全体会で承認を得る。

第7条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5章 活 動

第8条 本会は、第3条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- ① 青少年関係諸団体・学校及び官公署等との情報交換、連絡調整に関すること。
- ② 委員の資質向上のための自主研修に関すること。
- ③ 委員相互の連絡協調、調整、相談を密にし、個人活動の充実を図るための支援に関すること。
- ④ 青少年教育に関する調査研究及び広報活動に関すること。
- ⑤ 他地区青少年委員協議会及び青少年関係諸団体との協力関係を深めるための情報交換、交流事業に関すること。
- ⑥ 前各号のほか、青少年健全育成及び青少年の参画支援に関すること。

第6章 専門部及び特別委員会

第9条 本会に次の専門部を置く。

- ① 研 修 部 各種研修を計画、立案し運営にあたる。
- ② 広 報 部 青少年委員だより及び実践集録の発刊等、広報活動にあたる。
- ③ 地域交流部 青少年教育関係各機関・団体との情報交換、交流を計画立案し、運営にあたる。

第10条 必要に応じて、特別委員会を置くことができる。

第7章 会 議

第11条 本会の会議は、次のとおりとする。

- ① 全 体 会
- ② ブロック会
- ③ 役 員 会
- ④ 専門部会
- ⑤ 特別委員会

第12条 全体会は、本会の最高議決機関であり、全会員によって構成され会長が招集する。なお、原則として年6回以上開催し、次の事項を審議する。

- ① 事業計画ならびに予算
- ② 事業報告ならびに決算報告
- ③ 役員及び会計監査の承認
- ④ その他必要事項

第13条 ブロック会は、原則として年6回以上開催し、自主的に運営して次の事項を協議する。なお、ブロック編成は、地域割りにて3つのブロックとする。(旧社会教育会館単位)各ブロックは、必要に応じて副ブロック長を置くことができる。

- ① 個人活動及び諸団体との情報交換
- ② 役員会・専門部会との連絡調整
- ③ 会員相互の親睦
- ④ その他必要事項

第14条 役員会は、会長・副会長・会計・書記・ブロック長・専門部長をもって構成し、会長が招集する。ただし、代理出席することができる。なお、役員会は原則として毎月開催し、次の事項を審議する。

- ① 当該年度の予算の執行ならびに決算書の作成
- ② 事業計画及びブロック会・専門部会との連絡調整
- ③ その他運営上必要と認めた事項

第15条 専門部会は専門部員をもって構成し、部長が必要に応じて招集する。各専門部は、必要に応じて副専門部長を置くことができる。

第16条 会議は、出席者の過半数で議決し、賛否同数の場合は招集者がこれを決定する。

第17条 学校支援課の関係職員は、各会議に出席し参考意見を述べるることができる。

第8章 会 計

第18条 本会の運営に必要な経費は、会費その他の収入をもってこれに充てる。なお、会計はその年度ごとに定める。

第19条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第9章 規約の改廃及び細則

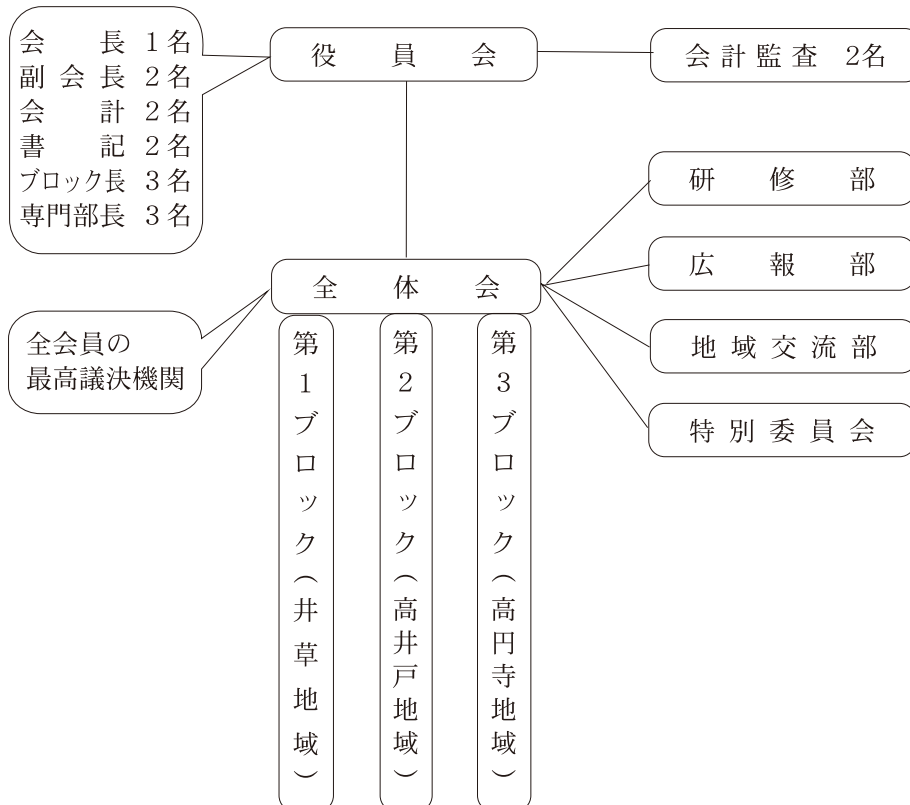
第20条 この規約は、全体会において出席者の過半数の賛成をもって改廃することができる。

第21条 本会の運営上必要な細則は、全体会の承認を経て別に定めることができる。

付 則

- この規約は昭和57年4月1日より施行する。
- この規約は昭和58年3月18日より施行する。
- この規約は昭和59年4月1日より施行する。
- この規約は昭和61年4月1日より施行する。
- この規約は平成5年4月1日より施行する。
- この規約は平成6年4月1日より施行する。
- この規約は平成10年4月1日より施行する。
- この規約は平成12年4月1日より施行する。
- この規約は平成14年4月1日より施行する。
- この規約は平成16年4月1日より施行する。
- この規約は平成18年4月1日より施行する。
- この規約は平成24年4月1日より施行する。

杉並区青少年委員協議会 組織図



令和7年度 杉並区青少年委員協議会 ブロック別委員名簿

	氏名	役職	専門	担当中学校	担当小学校	推薦育成委員会
第一ブロック	会田 洋子	副部長	広 報	荻 窪	井 荻	上 井 草
	芦 秋子	会計監査	広 報	井 荻	桃 井 第一	清 査 中 通
	新 理恵子	副部長	研 修	井 草	桃 井 第四	上 井 草
	内田ほずみ		広 報	杉 森	馬 橋	高 円 寺 北
	大橋ゆかり		研 修	天 沼 中	天 沼 小	天 沼
	大盛 悦子	ブロック長	地 域 交 流	井 荻	四 宮	下 井 草
	栗原由香理	会計	地 域 交 流	神 明	高 井 戸 第四	宮 前
	河野知恵子		地 域 交 流	東 原	杉 並 第九	天 沼
	小林 朱実	会計監査	広 報	井 草	三 谷	上 井 草
	白瀬 理恵	副会長	地 域 交 流	中 瀬	桃 井 第五	下 井 草
	内藤 由香		研 修	中 瀬	八 成	下 井 草
	三浦 聡子		広 報	神 明	桃 井 第二	荻 窪
	山崎 愛	副ブロック長	研 修	荻 窪	桃 井 第三	上 荻 窪
第二ブロック	橋本 梨江		研 修	杉並和泉学園	杉並和泉学園	方 南 和 泉
	安部 音羽		広 報	高 井 戸	高 井 戸 東	高 井 戸
	岡田美津江	会長	広 報	富 士 見 丘	富 士 見 丘	高 井 戸
	奥山美奈子	ブロック長	研 修	高 井 戸	浜 田 山	下 高 永 福
	神戸 朱里	副部長	地 域 交 流	東 田	杉 並 第二	成 田
	齋藤 千帆		地 域 交 流	西 宮	高 井 戸 第二	宮 前
	丸山 麻由		広 報	西 宮	松 庵	宮 前
	長澤 淳子		地 域 交 流	宮 前	久 我 山	宮 前
	奈良崎智宏		地 域 交 流	宮 前	荻 窪	荻 窪
	鈴木 春乃	会計	研 修	東 田	東 田	成 田
	毒島さつき	書記	広 報	富 士 見 丘	高 井 戸	高 井 戸
	村木 由紀	副ブロック長	研 修	松 溪	桃 井 第二	荻 窪
	目黒 由美	書記	地 域 交 流	松 溪	西 田	成 田
	河井 貴子		地 域 交 流	向 陽	高 井 戸 第三	下 高 永 福
	瀧口 志保		広 報	向 陽	永 福	下 高 永 福
第三ブロック	小林 麻里	副ブロック長	研 修	松 ノ 木	松 ノ 木	堀 松 梅 宮
	小森 梨沙	部長	広 報	和 田	杉 並 第十	和 田
	横田 智子		広 報	和 田	和 田	和 田
	椎野 玲子	ブロック長	広 報	阿 佐 ヶ 谷	杉 並 第六	馬 橋
	澁谷 薫	部長	地 域 交 流	松 ノ 木	堀 之 内	堀 松 梅 宮
	杉本 昌代	部長	研 修	高 円 寺 学園	高 円 寺 学園	高 円 寺 北
	山崎 友香		地 域 交 流	高 南	杉 並 第十	和 田
	鳥切智予美		地 域 交 流	高 円 寺 学園	高 円 寺 学園	高 円 寺 中央
	佐藤 幸子		広 報	大 宮	大 宮	堀 松 梅 宮
	日吉 朋子		地 域 交 流	大 宮	済 美	堀 松 梅 宮
	松本 絵美		研 修	高 南	杉 並 第三	高 円 寺 中央
	諸橋 記子	副会長	研 修	阿 佐 ヶ 谷	杉 並 第七	阿 佐 谷
吉村 昌子		研 修	大 宮	済 美 養 護	堀 松 梅 宮	

令和7年度
青少年委員実践集録

登録印刷物番号

07-0092

対話からの気づきをおくりあおう

令和8年3月発行

編集 杉並区青少年委員協議会 広報部

発行 杉並区教育委員会事務局 学校支援課
家庭・地域教育担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

電話 03(3312)2111(代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>